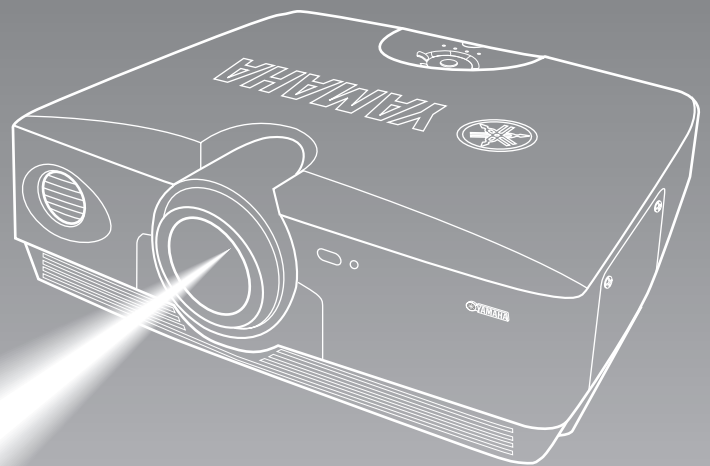


DPX-1000

デジタル シネマ プロジェクター



ヤマハデジタルシネマプロジェクターDPX-1000をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

■本機の優れた性能を十分に発揮させると共に、永年支障なくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書と保証書をよくお読みください。お読みになったあとは、保証書と共に大切に保管し、必要に応じてご利用ください。

■保証書は、「お買上げ日、販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

安全上のご注意(安全に正しくお使いいただくために)

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

この「安全上のご注意」に書かれている内容には、お客様が購入された製品に含まれないものも記載されています。

絵表示の例



気をつけなければならない内容を表示しています。
たとえば▲は「感電注意」を示しています。



してはいけない行為を表示しています。
たとえば⊘は「分解禁止」を示しています。



必ずしなければならない行為を表示しています。
たとえば●は「電源プラグをコンセントから抜くこと」を示しています。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



プラグを抜く

下記の場合には、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。

- 異常なおいや音が出る。
 - 煙が出る。
 - 内部に水や異物が混入した。
- そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。



禁止

電源コードを傷つけない。

- 重いものを上に載せない。
 - ステープルで止めない。
 - 熱器具には近づけない。
 - 無理な力を加えない。
- 芯線がむき出しのまま使用すると、火災や感電の原因となります。



水ぬれ禁止

本機を下記の場所には設置しない。

- 浴室・台所
 - 加湿器を過度にきかせた部屋
 - 雨や水がかかるところ
- 水滴の混入により火災や感電の原因となります。



分解禁止

分解・改造は厳禁。ランプとフィルターの交換時を除き、キャビネットは絶対に開けない。

火災や感電の原因となります。
修理・調整は販売店にご依頼ください。



禁止

放熱スペース確保のため、排気口及び吸入口のそばにはものを置かない。

- 布やテーブルクロスをかけない。
 - じゅうたん・カーペットの上には設置しない。
 - 通気性の悪い狭いところへは押し込まない。
- 本機の内部に熱がこもり火災の原因となります。



禁止

電池を充電しない。

電池の破裂や液もれにより火災やけがの原因となります。



必ず行う

本機を落としたり、本機が破損した場合には、必ず販売店に点検を依頼してください。

そのまま使用すると火災や感電の原因となります。



禁止

AC 100～120V/220～240V 50/60Hz以外の電源電圧では使用しない。

火災や感電の原因となります。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



必ず行う

電源プラグのゴミやほこりは定期的にとり除く。

ほこりがたまったまま使用を続けるとプラグがショートして火災や感電の原因となります。



禁止

本機を不安定なところには置かない。

本機の転倒や落下によりランプが破裂して、けがをする原因となります。



禁止

本機の上には、花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品・ろうソクなどを置かない。

- 水や異物が入ると、火災や感電の原因となります。
- 接触面が経年変化を起こし、本機の外装を損傷する原因となります。



禁止

ランプの点灯中は、決して光源レンズをのぞかない。

強い光によって視力障害などを引き起こす原因となります。



注意

本機に使われている水銀ランプは取扱いを間違えると破裂するおそれがあります。

- ランプに衝撃や傷を与えない。
 - ランプ交換時期を超えて使用しない。
 - 本機を使用中はランプに顔を近づけない。
- けがや中毒を起こす原因となります。万一ランプが破裂した場合は、破裂時に生じたガスを吸い込んだり目や口に入れないようにご注意ください。すみやかに部屋の換気を行い、新しいランプの交換を販売店にご依頼ください。



必ず行う

プロジェクターを天吊りしている状態で、破裂したランプを交換する場合は、天吊りユニットから外してから交換する。

天吊りしたまま交換すると、ガラス破片がこぼれ落ちて、けがの原因となります。また、天吊り状態が不安定になり、本機が落下して、けがの原因になることがあります。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損傷のみの発生が想定される内容を示しています。



禁止

直射日光のあたる場所や温度が異常に高くなる場所(暖房機のそばなど)には設置しない。

本機の外装が変形したり内部回路に悪影響が生じて、火災の原因となることがあります。



注意

本機はデジタル信号を扱います。他の電気製品に障害をあたえるおそれがあります。

それらの製品とはできるだけ離して設置してください。



プラグを抜く

長期間使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。

火災や感電の原因となることがあります。



接触禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。

感電の原因となることがあります。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損傷のみの発生が想定される内容を示しています。



禁止

電源プラグを抜くときは、電源コードをひっぱらない。
コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。



プラグを抜く

移動をするときには本機(または接続機器)の電源スイッチを切り、すべての接続をはずす。
● 機器が落下や転倒してけがの原因となることがあります。
● コードが傷つき火災や感電の原因となることがあります。



必ず行う

電池は極性表示(プラス⊕とマイナス⊖)に従って、正しく入れる。
間違えると破裂や液もれにより火災やけがの原因となることがあります。



禁止

指定以外の電池は使用しない。また種類の異なる電池や新しい電池と古い電池をいっしょに混ぜて使用しない。
破裂や液もれにより火災やけがの原因となることがあります。



禁止

電池と金属片をいっしょにポケットやバックなどに入れて携帯しない。
端子間でショートし破裂や液もれにより火災やけがの原因となることがあります。



禁止

電池を加熱・分解したり、火や水の中へ入れない。
破裂や液もれにより火災やけがの原因となることがあります。



禁止

電池からもれ出た液には直接触れない。
液が目や口に入ったり、皮膚についたりした場合はすぐに水で洗い流し、医師に相談してください。



禁止

ほこりや湿気の多いところへ設置しない。
ほこりの堆積によりショートして、火災や感電の原因となることがあります。



プラグを抜く

手入れをするときには、必ず電源プラグを抜いて行う。
感電の原因となることがあります。



必ず行う

重いので、開梱や持ち運びは必ず2人以上で行う。
けがの原因となることがあります。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損傷のみの発生が想定される内容を示しています。



必ず行う

必ず付属の専用電源コードを使用する。

専用コード以外の使用は、火災や感電の原因となることがあります。



必ず行う

電源プラグはコンセントに根もとまで確実に差し込む。

差し込みが不十分のまま使用すると感電したり、プラグにほこりが堆積して発熱や火災の原因となることがあります。



禁止

電源プラグを差し込んだときゆるみがあるコンセントは使用しない。

感電や発熱・火災の原因となることがあります。



注意

環境温度が急激に変化したとき、本機に結露が発生することがあります。

結露が発生した場合には、電源を入れない状態でしばらく放置してください。



禁止

薬物厳禁

ベンジン・シンナー・合成洗剤等で外装をふかない。また接点復活剤を使用しない。

外装が傷んだり、部品が溶解することがあります。



禁止

動作中や停止直後のランプには手を触れない。

高熱により火傷をする原因となることがあります。

(ランプ交換は、ランプが充分冷えた状態で行ってください。)



禁止

ランプを点灯した状態でレンズキャップをつけたまま放置しない。

レンズ部に熱がこもり故障の原因となることがあります。



必ず行う

ランプ交換時は必ず専用の交換用ランプカートリッジ(PJL-327)を使用する。

それ以外のランプカートリッジは本機には使用できません。



禁止

お客さまによる天吊りなどの工事は一切行わないでください。

(工事は技術と経験が必要です。お買上げ店または専門の工事業者にご依頼ください。)

不十分な取付けは、本機が落下して、けがをする原因となることがあります。



注意

年に一度くらいは内部の掃除を販売店にご依頼ください。

ほこりがたまったまま使用を続けると、火災の原因となることがあります。

設置時のご注意

設置する環境・場所・仕方などによっては、本機の故障・破損・火災の原因となる場合があります。設置にあたっては次の事項に充分留意頂くようお願いいたします。

■ 適切でない設置場所

1. 温度・湿度の高い場所

- 温度や湿度が非常に高い場所や、著しく温度の低い場所での使用は避けてください。
- 本機の使用温度範囲は5℃～35℃です。

2. 風通しが悪い場所

- 本機を設置する場所は、周囲から30cm以上の間隔をあけてください。
- 本機の吸気口、排気口をふさがらないでください。温度上昇の原因となります。
- 柔らかいじゅうたんや布団の上には置かないでください。
- テーブルクロスなどを掛けないでください。
- 本機の下に小さな紙などを置くと、吸気口に吸付いて温度上昇の原因となります。
- 本機をラックなどに設置する場合は、排気により本機が高温にならないように、必ず強制空冷を行ってください。

3. 埃の多い場所

- フィルターが詰まりやすくなり、温度上昇の原因となります。

4. 振動や衝撃が加わる場所

- 振動の伝わる場所や自動車などに設置すると、振動や衝撃により部品が損傷し故障の原因となります。

5. 水気のある場所

- 水気のある場所での使用は、感電、火災の原因となります。

6. 不安定な場所

- ぐらついた台の上や傾いた所などに置くと、けがや故障の原因となります。

7. ラジオやテレビから近い所

- 本機をラジオやテレビジョン受信機に接近して使用すると、受信障害を引き起こすことがあります。

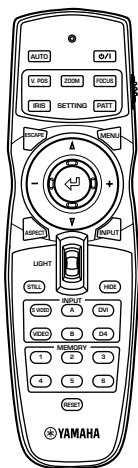
ご注意

- スクリーンには、照明など本機以外からの光が直接入らないようにしてください。外光が入らないほど、コントラストのある美しい映像が見られます。

付属品の確認

付属品がすべてそろっているか、確認してください。

- リモコン



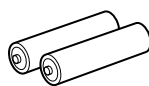
- プラグ変換アダプター



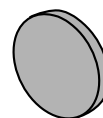
- 電源コード



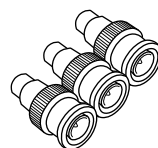
- 単3乾電池



- レンズキャップ



- ピン/BNC変換アダプター



本機の特長

- DLP™方式を採用した高輝度・高コントラスト映像
- HDTV対応の1280×720ピクセルDMD™素子
- 明るい高解像度大口径レンズ
- 電動によるレンズ調整機構
—ズーム、フォーカス、垂直位置調整、光学絞り—
- ヤマハの音響技術を駆使した静音設計
- 豊富な画質調整機能と6個のメモリー機能搭載
- 高性能3-2ブルダウン検出によるフィルムソースの高画質撮影
- Digital Visual Interface (DVI)を搭載
HDCP対応

(DLP™およびDMD™は米国TI社の登録商標です。)

目次

はじめに

本機の特長	1
各部の名称と機能	
前面とコントロール部	2
接続部	3
リモートコントロール	4
リモコンの操作範囲	5
リモコンの電池の入れ方	5
ワイヤードリモコンとしての使い方	5

設置

設置するには	
各種の設置方法	6
スクリーンと投影距離について	7
投影する映像の位置について	8
台形補正について	8

接続

接続するには	
AV 機器との接続	9
コンピューター機器との接続	10

基本操作

基本操作について	
電源を入れる	11
電源を切る	11
投影する為の準備	12
入力を選ぶ	13
表示アスペクトを選ぶ	14
その他の機能	15
インディケータについて	15

メニュー

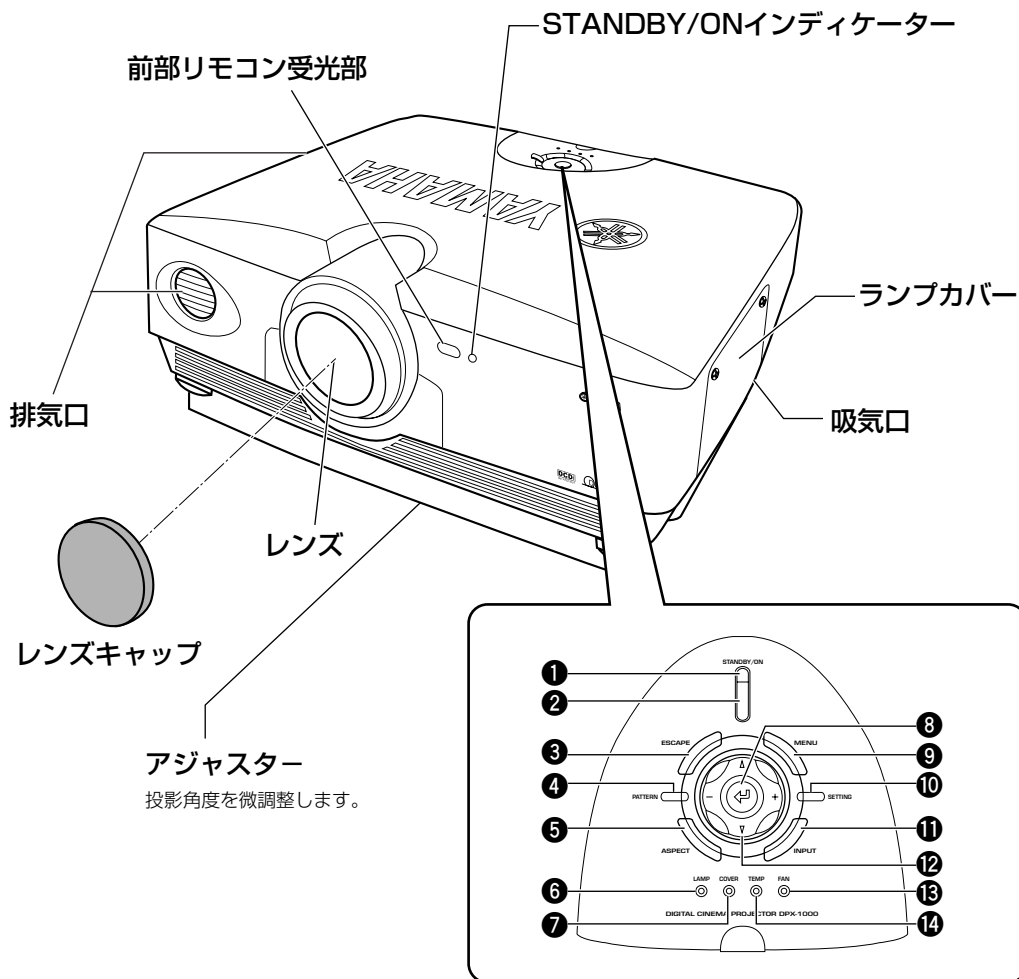
メニューの構成	16
① <画質>	17
② <信号>	19
③ <初期>	20
④ <設置>	21
メニューの操作方法	
メニュー画面と操作ボタン	22
メニューの基本操作	23
サブメニューについて	24
サブメニューの基本操作	25
インライン画質メニュー	28
メニュー画面の移動	28
メモリー機能について	
メモリー番号を選ぶ	29
初期設定に戻す	30

参考

参考	
用語解説	31
投影できる信号について	33
メッセージの表示	34
メンテナンスについて	
日常のお手入れ	35
フィルターの交換	35
ランプの交換	36
故障かなと思ったら	37
仕様	
仕様	38
寸法図	39
ヤマハホットラインサービスネットワーク	40

各部の名称と機能

■ 前面とコントロール部



① STANDBY/ONインディケーター

② STANDBY/ONボタン

本機の電源スイッチで、スタンバイとオン(動作状態)を切替えます。

③ ESCAPEボタン

サブメニューモードから抜けるときに使います。

④ PATTERNボタン

内蔵のテストパターンの投影をオン・オフします。

⑤ ASPECTボタン

投影する映像の表示アスペクトを選びます。ボタンを押すと現在選ばれているアスペクトを表示し、2秒以内にもう一度押すと次に切替わります。

⑥ LAMP異常インディケーター

⑦ COVER異常インディケーター

⑧ (Enter)ボタン

数値を確定したり、サブメニューに入る時に使います。

⑨ MENUボタン

各種設定や調整を行なうメニュー表示をオン・オフします。

⑩ SETTINGボタン

レンズに関連する調整モードを選択します。

⑪ INPUTボタン

入力端子と入力信号を選択するメニュー表示をオン・オフします。

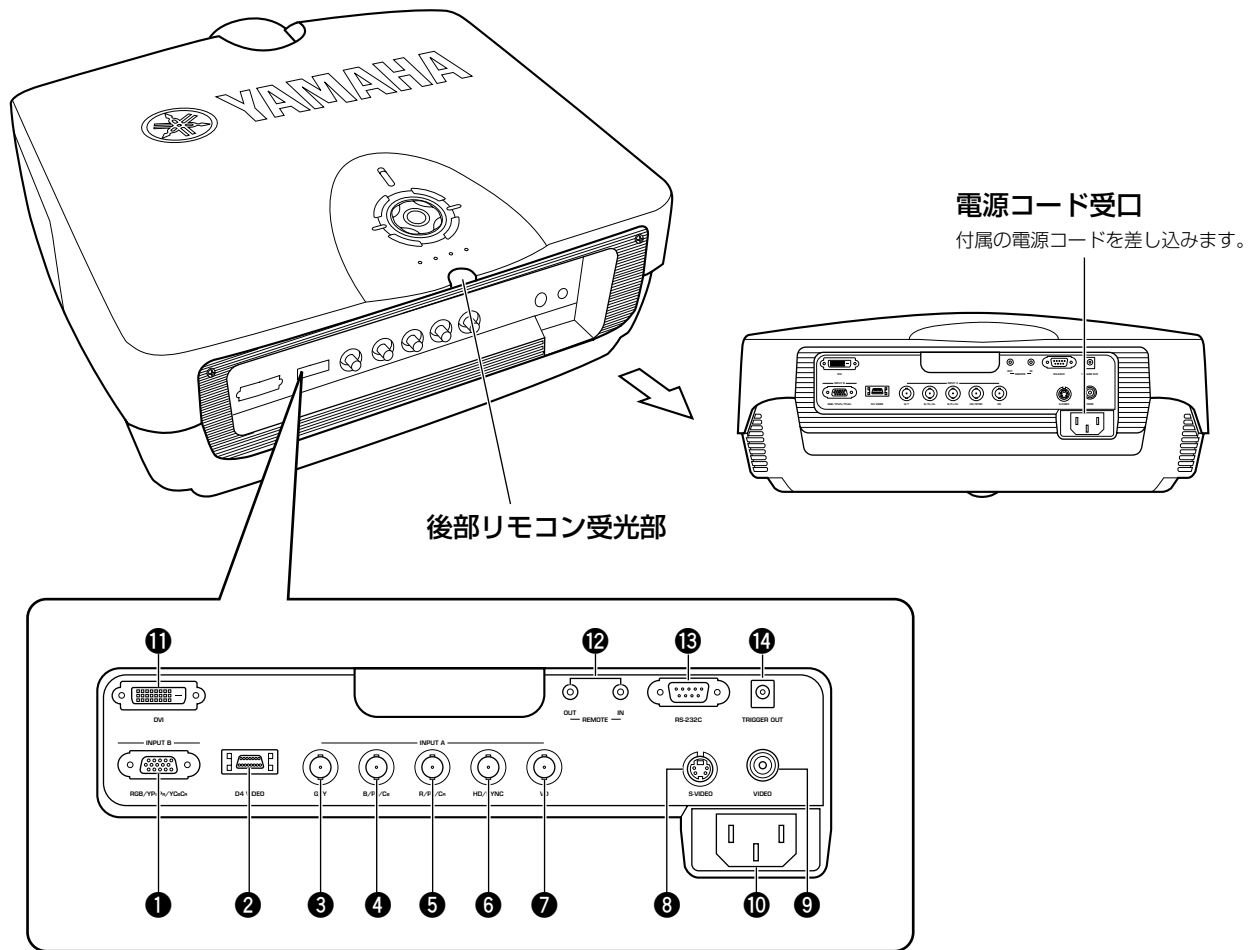
⑫ カーソルボタン

△、▽、←、→の操作をします。また、メニュー項目を選択したり、値を変更したりします。

⑬ FAN異常インディケーター

⑭ TEMP異常インディケーター

■ 接続部

**① INPUT B(D-sub 15ピン)**

コンポーネントビデオ信号及びRGB信号(RGB/YPbPr/YCbCr)の入力端子です。D-subモニターケーブルを使用してください。

② D4 VIDEO(D端子)

AV機器のD端子からのビデオ信号の入力端子です。D1～D4に対応しています。

③～⑦ INPUT A(BNC端子)

コンポーネントビデオ信号及びRGB信号の入力端子です。AV機器からのコンポーネント信号は③～⑤へ、コンピューター機器からのRGB信号は③～⑦へ入力します。接続にはBNCケーブルを使用してください。

- ③ G/Y (G、輝度信号)
- ④ B/Pb/Cb (B、色差信号)
- ⑤ R/Pr/Cr (R、色差信号)
- ⑥ HD/SYNC (水平同期信号、コンポジット同期信号)
- ⑦ VD (垂直同期信号)

⑧ S-VIDEO(ミニDIN端子)

AV機器のSビデオ端子からのSビデオ信号の入力端子です。Sビデオ用ケーブルを使用してください。

⑨ VIDEO(ピンジャック)

AV機器のビデオ端子からのコンポジットビデオ信号の入力端子です。ビデオ用のピンケーブルを使用してください。

⑩ 電源コード受口**⑪ DVI(DVI専用端子)**

コンピューター機器からのDVI信号、またはAV機器からのDVI信号をこの端子に入力します。

⑫ REMOTE IN/OUT端子

リモコンとケーブルで接続する場合には、IN端子に接続します。OUT端子はIN端子に入力されたコードをそのまま出力します。

⑬ RS-232C(D-sub 9ピン)

サービス用の端子です。

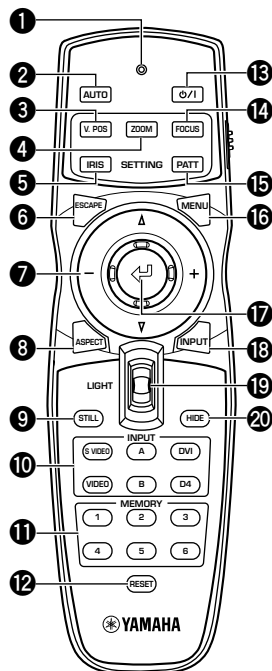
⑭ TRIGGER OUT

外部機器制御用の信号出力です。投影時に+12V/最大200mAを出力します。

各部の名称と機能

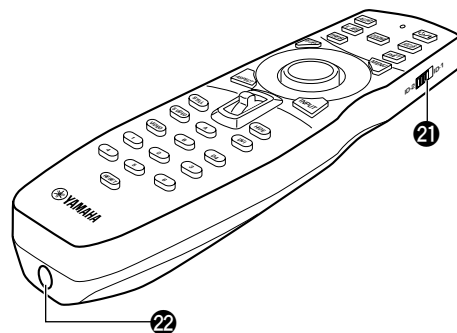
■ リモートコントロール

本体と同じ名前のボタンは、同じ働きをします。
リモコンは、本体の前面あるいは後部の受光部に向けて、7m以内で操作してください。



- 1 Transmitインディケター**
リモコン操作の赤外線信号を送信している時に点灯します。
- 2 AUTOボタン**
信号の種類に応じた最適な設定を自動的に再調整します。
- 3 V. POSボタン**
投影された映像全体の垂直位置を調整するモードの入/切をします。
- 4 ZOOMボタン**
投影された映像のサイズを調整するモードの入/切をします。
- 5 IRISボタン**
レンズの絞りの切替えをするモードの入/切をします。
- 6 ESCAPEボタン**
サブメニューから戻るときに使用します。
- 7 カーソルボタン**
△、▽、←、→の操作をします。
- 8 ASPECTボタン**
投影する映像の表示アスペクトを選びます。ボタンを押すと最初に現在選ばれているアスペクトを表示し、2秒以内にもう一度押すと次に移行します。
- 9 STILLボタン**
投影している映像を止めて静止画にします。解除するには、もう一度押します。
- 10 INPUTエリア**
入力端子をダイレクトに選ぶことができます。

- 11 MEMORYエリア**
記憶しているビデオメモリーを直接呼出します。
- 12 RESETボタン**
メニューの各種パラメーター調整時に押すと初期値にリセットされます。
- 13 O/Iボタン**
本機の電源スイッチで、スタンバイとオン(動作状態)を切替えます。
- 14 FOCUSボタン**
投影された映像の焦点を調整するモードの入/切をします。
- 15 PATT(PATTERN)ボタン**
内蔵のテストパターンを投影をオン・オフします。
- 16 MENUボタン**
各種設定や調整を行なうメニュー表示をオン・オフします。
- 17 ↵ (Enter)ボタン**
メニューが出ている場合には、数値を確定したり、サブメニューに入る時に使います。メニューが出ていない場合には、インラインメニュー表示を行います。(P.28参照)
- 18 INPUTボタン**
入力端子(入力信号)を選択するメニュー表示をオン・オフします。
- 19 LIGHTスイッチ**
スイッチを上下に倒すと使用頻度の高い**2**、**6**、**8**、**13**、**16**、**18**の操作ボタンが点灯します。10秒間ボタン操作がないと消灯します。
- 20 HIDEボタン**
投影している映像を一時的に消します。解除するには、もう一度押します。



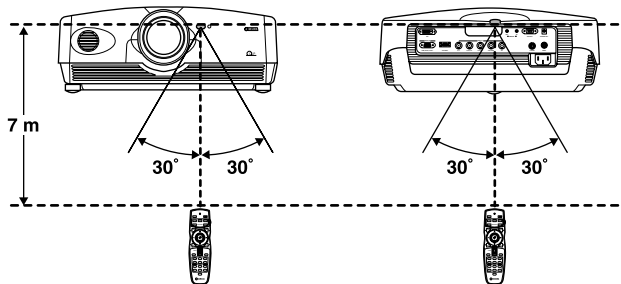
- 21 リモコンコード切替えスイッチ**
メニューで設定したコードと同じIDで、このリモコンが機能します。メニューでの初期設定はID-1です。
- 22 リモートケーブル端子**
本体とケーブルで接続して使用する場合の端子です。

■ リモコンの操作範囲

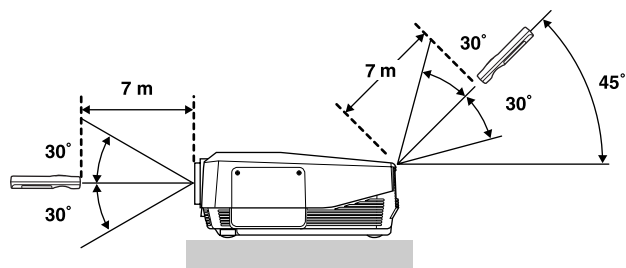
リモコンで操作する場合は、次の範囲でお使いください。受光部との距離と角度が操作可能範囲を外れると、リモコン操作できません。

操作可能範囲	操作可能範囲
7m	上下左右各30°

左右30°



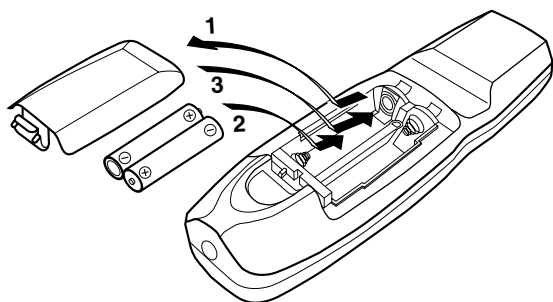
上下約30°



ご注意

- ・ 本体リモコン受光部に蛍光灯の光や、明るい光などが当たっていると正常に動作しないことがあります。
- ・ 本体リモコン受光部とリモコンとの間に、障害物等がある場合信号がさえぎられると正常に動作しないことがあります。
- ・ 上記の数値は概略値です。

■ リモコンの電池の入れ方



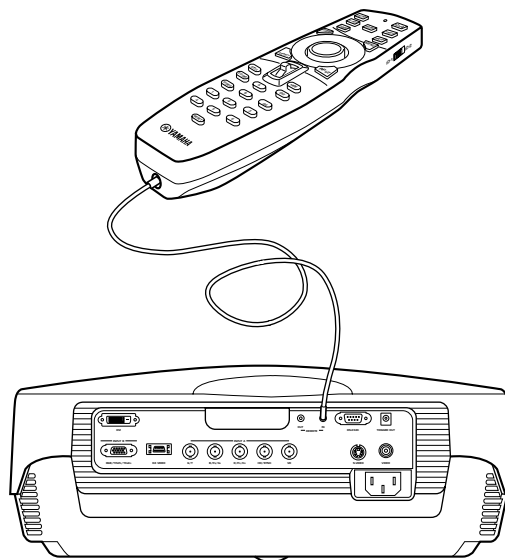
1. リモコンの裏のふたをはずします。
2. 単3乾電池を2個、プラスとマイナスの向きを確認して、表示どおりに正しく入れてください。
3. 電池をセットしたら、カチッと音がするまでふたを閉めます。

ご注意

- ・ 操作距離が短くなったり、操作が不確実になってきたら、電池を新しいものと交換してください。
- ・ 新旧または異種の電池を混ぜて使用しないでください。
- ・ 長期間使わないときは、電池は取出しておいてください。
- ・ 乾電池が液漏れした場合は、液に触れないよう注意して廃棄してください。液が目や口に入ったり、皮膚についたりした場合はすぐに水で洗い流し、医師に相談してください。新しい乾電池を入れる前に電池ケース内をきれいにふいてください。

■ ワイヤードリモコンとしての使い方

2Pモノラルのミニプラグのケーブルでリモコン下部のリモートケーブル端子と本体接続部のREMOTE IN端子をつなぐとワイヤードリモコンとして機能します。

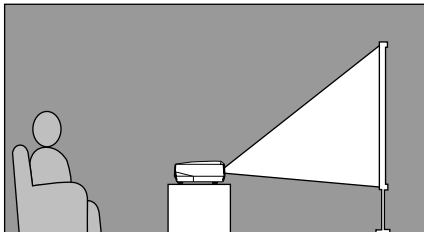


設置するには

■ 各種の設置方法

設置方法としては、スクリーンの正面から投影する時の卓上置きと天井吊りの場合、半透過性スクリーンに裏側から投影する時の卓上置きと天井吊りの場合があります。後述の「メニュー」の④<設置>の設置状態の項目で、設置方法を設定する必要があります。(P.21参照)

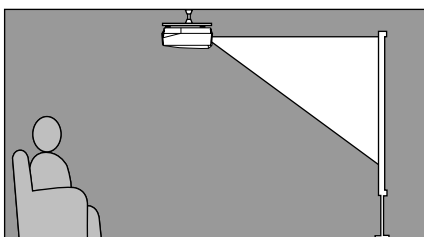
<卓上置き設置>



スクリーンに投影し、正面から見る場合で、通常ある高さの台にのせて設置します。

本機の底面からレンズの中心までの距離は12.4cmです。

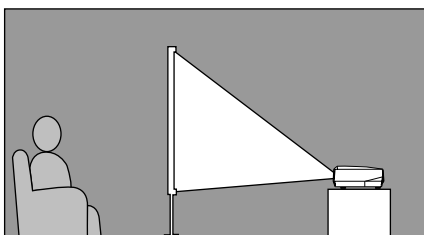
<天井吊り設置>



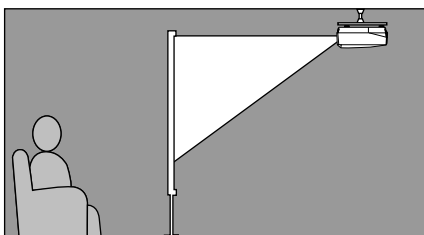
天井吊りにする場合は、専用の天井金具が二種類(別売低天井用、高天井用)用意されています。仕様についてはお買上げ店にご相談ください。設置工事は必ずお買上げ店、または信頼のできる専門の工事業者へ依頼してください。

スクリーンとの関係は、卓上置き設置の場合を上下反転した形となります。この場合は「メニュー」の④<設置>の設置状態の項目で、フロント/天井吊りの設定をしてください。(P.21参照)

<裏側からの卓上置き、天井吊り設置>



半透過性スクリーンに投影し、裏側から見る場合です。投影距離やスクリーンとの関係は、正面設置の場合に準じます。この場合は「メニュー」の④<設置>の設置状態の項目で、リア/テーブルかリア/天井吊りの設定をしてください。(P.21参照)



■ スクリーンと投影距離について

スクリーンに対する本機の最適設置位置(投影距離 [a])は、使用するスクリーンのサイズ(対角線長)により決まります。ズーム機能を利用することによりワイド(広角)側からテレ(望遠)側までの所定範囲での投影距離の調整が可能です。また、V. POS(垂直位置)の調整により投影される映像の上下位置をスクリーンと合わせることができます。下図と投影距離を参考にスクリーンサイズにあわせて設置してください。

<16:9 スクリーンを使用の場合>

スクリーンサイズ (inch)	投影距離 [a] ワイド(m) ~ テレ(m)
60	1.78 ~ 2.88
70	2.08 ~ 3.37
80	2.39 ~ 3.86
90	2.70 ~ 4.35
100	3.00 ~ 4.84
110	3.31 ~ 5.33
120	3.62 ~ 5.82
150	4.54 ~ 7.29
200	6.07 ~ 9.74

<4:3 スクリーンを使用の場合>

本機は16:9のパネルを装備している為、4:3スクリーンを使用する場合は、投影する映像のサイズによりその設置位置が変わってきます。

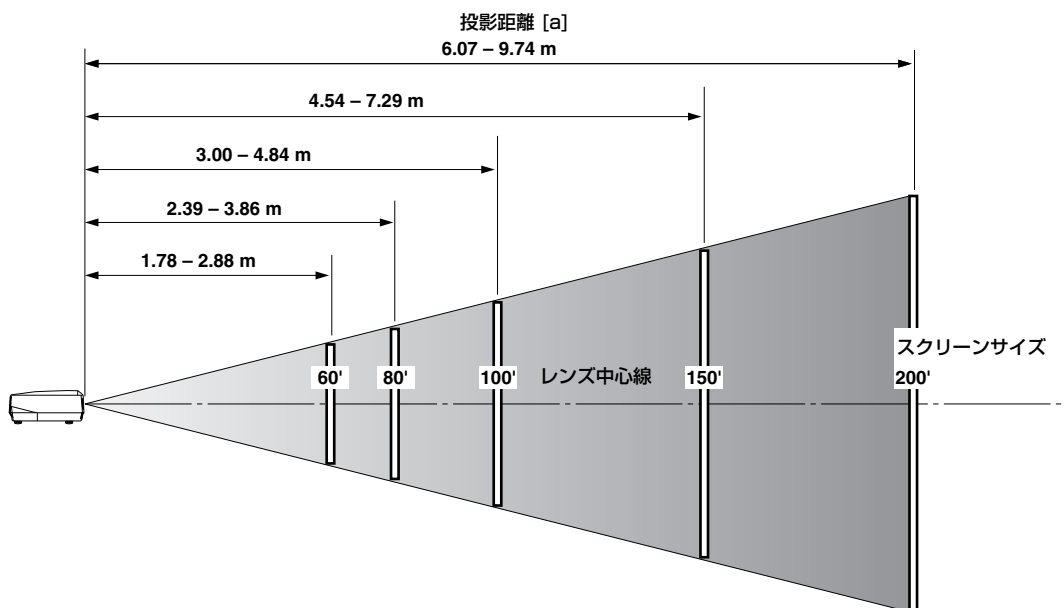
- ① 常時16:9映像をスクリーンの幅いっぱいに投影する場合
(上下に黒い帯が残ります。)
- ② 常時4:3映像をスクリーンいっぱいに投影する場合

スクリーンサイズ (inch)	投影距離 [a]	
	① ワイド(m) ~ テレ(m)	② ワイド(m) ~ テレ(m)
60	1.63 ~ 2.64	2.17 ~ 3.52
80	2.19 ~ 3.54	2.93 ~ 4.72
100	2.76 ~ 4.44	3.68 ~ 5.92
120	3.32 ~ 5.34	4.43 ~ 7.12
200	5.58 ~ 8.94	7.43 ~ 11.92

③

- ③ 16:9と4:3両方の映像を投影する場合
上記①、②をズーム操作により切替えて投影する方法で、両方の映像に対してスクリーンを最も有効に利用できます。この場合の投影距離は、②のワイド側から①のテレ側までの間となります。それぞれの映像に対してスクリーンいっぱいに投影するように、ズーム操作により投影する映像のサイズを調整します。ただし、V. POSの調整により映像の位置がずれる場合がありますのでご了承ください。

16:9 スクリーンの場合



※これらの数値は理論値です。実際には若干の誤差がありますので、予めご了承ください。

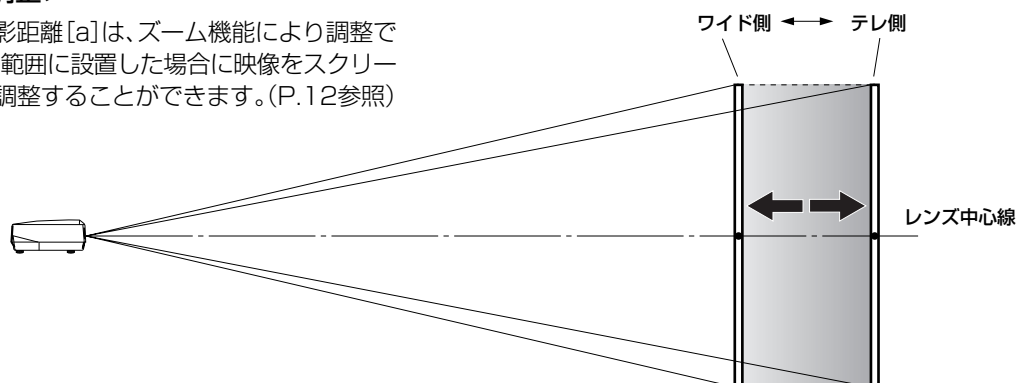
設置するには

■ 投影する映像の位置について

設置されたスクリーンに対して投影する映像の位置の調整は、次の方法で行うことができます。

<ZOOM(ズーム)による調整>

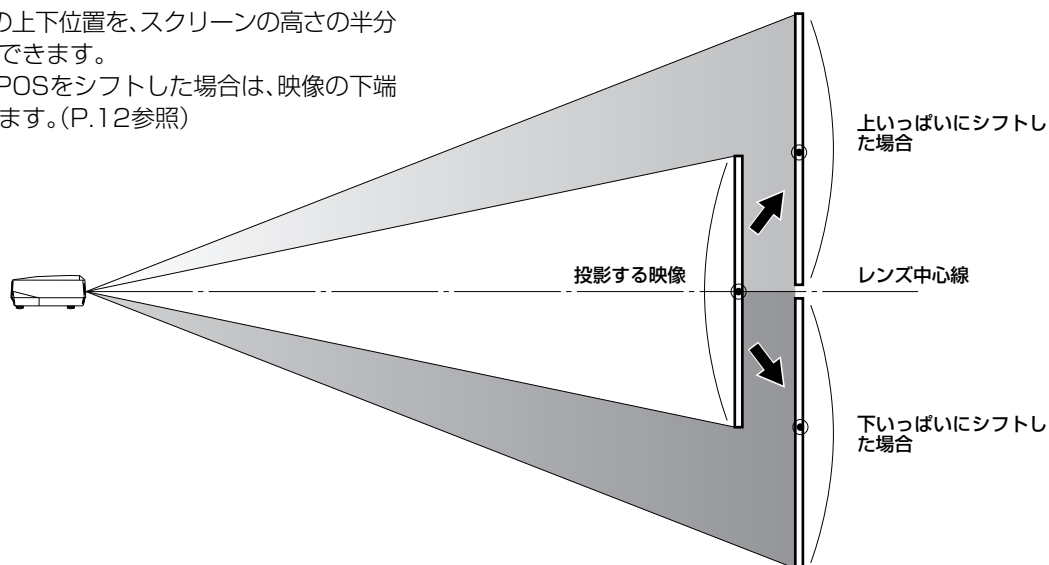
スクリーンサイズに対する投影距離[a]は、ズーム機能により調整できる範囲を示しています。この範囲に設置した場合に映像をスクリーンいっぱいに投影するように調整することができます。(P.12参照)



<V. POS(垂直位置)による調整>

スクリーン上に投影する映像の上下位置を、スクリーンの高さの半分だけ上または下方向にシフトできます。

例えば、上方向いっぱいにV. POSをシフトした場合は、映像の下端がレンズ中心の延長線上にきます。(P.12参照)

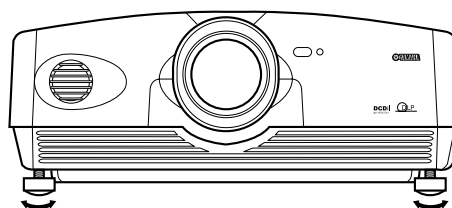


<アジャスターによる調整>

卓上置き設置の場合、スクリーン上の映像の上下位置の微調整は底面のアジャスターを用いて行うことができます。

本体前部底面の2本のネジ式可動足をまわすと傾きが変わり投影する角度が変わります。適宜調整をしてください。

なお、可動足の可変範囲は約3cmです。それ以上ゆるめると可動足がはずれることがありますのでご注意ください。



■ 台形補正について

スクリーンに対する投影角度が仰角または俯角を持っている場合に、画面が台形に歪みます。これを電子的に補正するのが台形補正で、この操作については「メニュー」の④<設置>の台形補正の項目で設置状況に合わせて調整してください。(P.21参照)

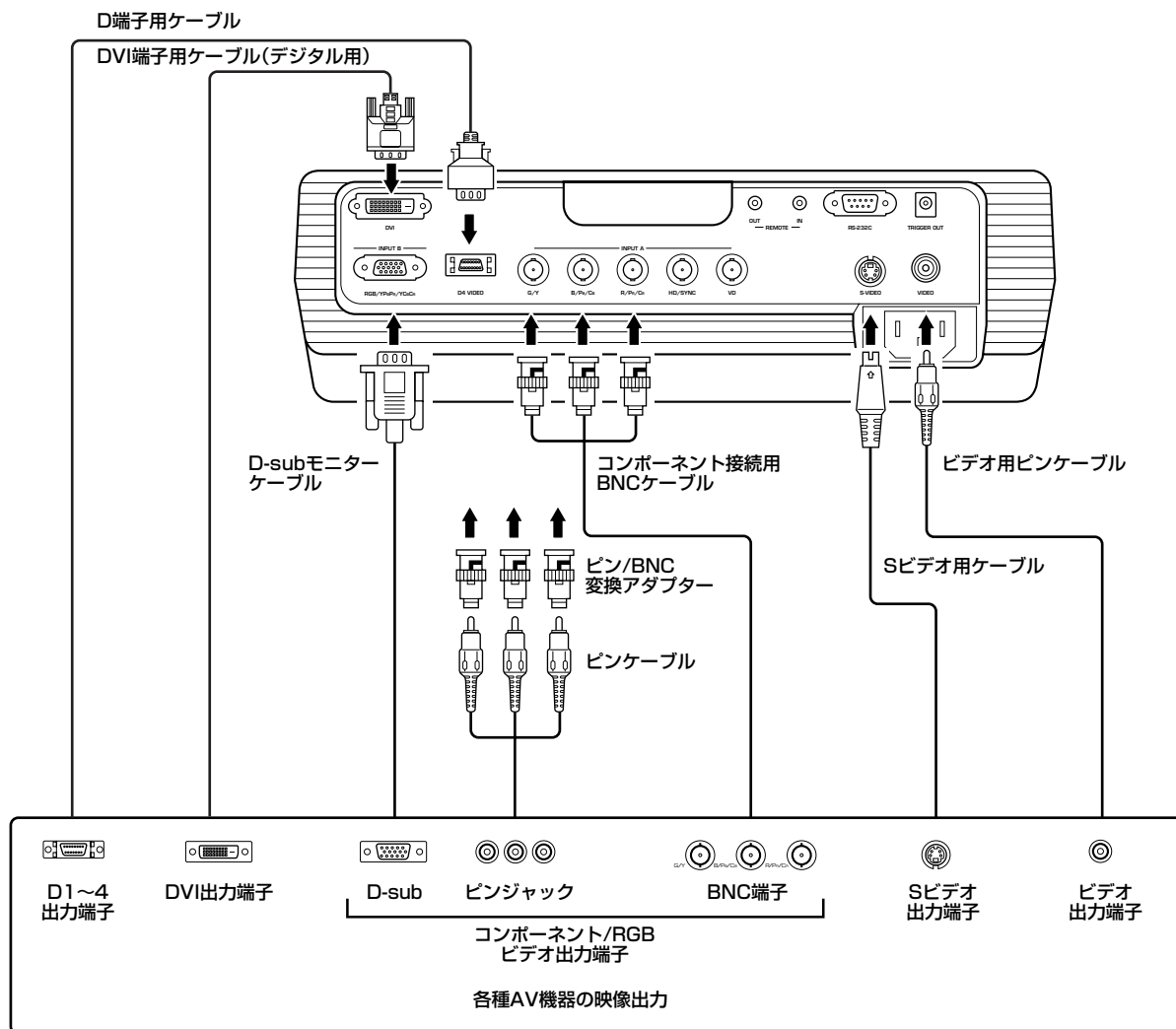
接続するには

- 接続を始める前に、必ず本機および接続する各機器の電源を切ってください。
- 接続する機器によって、接続方法や端子名が異なる場合があります。その取扱説明書も併せてご覧ください。
- プラグはノイズやトラブルの原因にならぬように確実に差込んでください。

■ AV機器との接続

本機のAV機器用のビデオ入力端子は、下記の6種類が用意されています。接続には、それぞれの端子形状に合った正しいケーブルや変換のためのアダプターを使用し、図に従ってAV機器の映像出力信号を本機に接続してください。

入力	信号の種類	端子形状
VIDEO	コンポジットビデオ	ピンジャック
S-VIDEO	S ビデオ	ミニDIN端子
INPUT A	コンポーネントビデオ/RGBビデオ	BNC端子×3~5
INPUT B	コンポーネントビデオ/RGBビデオ	D-sub 15ピン
D4 VIDEO	コンポーネントビデオ	D端子
DVI	コンポーネントビデオ/RGBビデオ (デジタル)	DVI端子



◆メモ◆

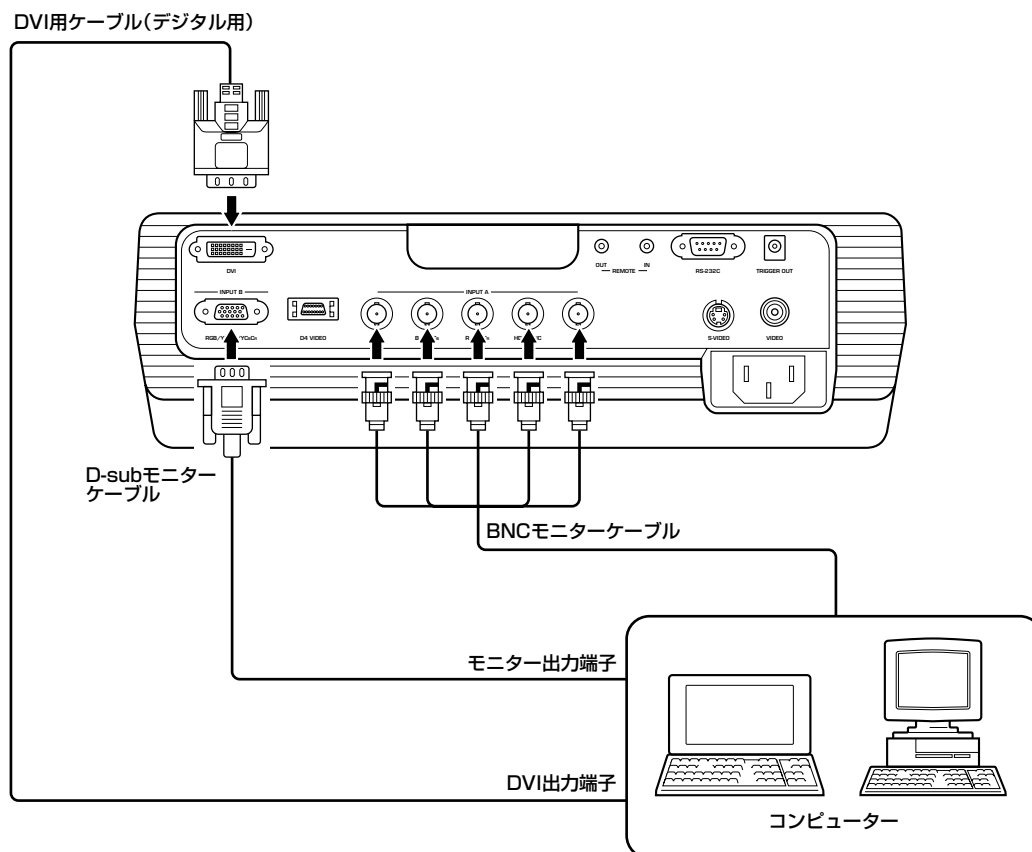
- INPUT AにAV機器のコンポーネント信号を接続する際は、Y/P_B/P_RまたはY/C_B/C_Rの記号にそれぞれ対応する端子に間違いのないように接続してください。併せて接続する機器の取扱説明書も参照ください。なお、RGBビデオの場合はHD/SYNC、VDへの接続が必要な場合もあります。

接続するには

■ コンピューター機器との接続

本機とコンピューター機器との接続には、下記の3種類が用意されています。接続には、それぞれの端子形状に合った正しいケーブルを使用してください。

入力	信号の種類	端子形状
INPUT A	RGB アナログ	BNC端子×5
INPUT B	RGB アナログ	D-sub 15ピン
DVI	RGB デジタル	DVI端子



◆ メモ ◆

- 入力される映像信号についての詳細な設定は、後述の「メニュー」の②<信号>の項目(P.19)を参照して行ってください。

基本操作について

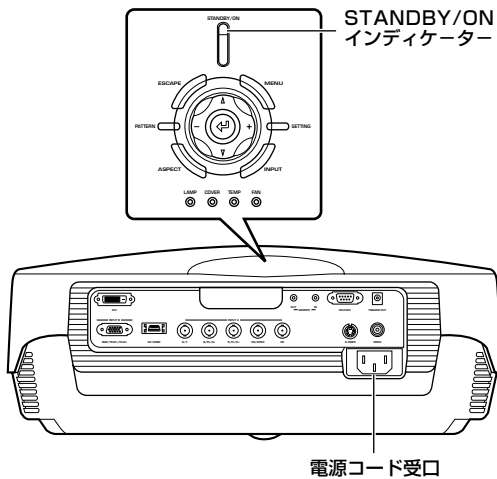
設置と接続の終わった段階で、投影するための本機の基本操作を説明します。

本機は、設置状態・スクリーン・入力信号など使用状況に合わせて、後述する「メニュー」で詳細な設定をする必要があります。次項以降、順序に従ってそれらの設定を行ってください。

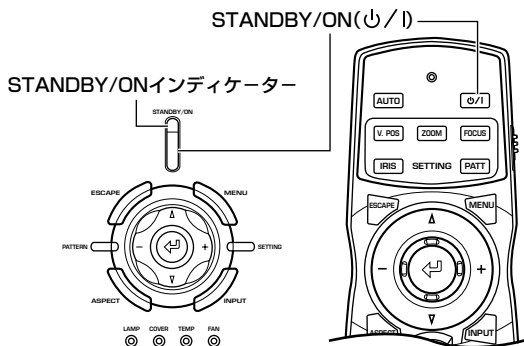
■ 電源を入れる

操作を始める前に必ずレンズキャップを外してください。

1. 付属の電源コードを本体背面の電源コード受口にしっかりと接続し、先端のプラグをコンセントに差し込みます。STANDBY/ONインディケーターが橙色に点灯します。



2. STANDBY/ONボタン(リモコンの \square / I ボタン)を押すとインディケーターが緑色の点滅に変わり、光源のランプが点灯し、この間投影の準備をします。



◆ メモ ◆

- STANDBY/ONインディケーターは本機前面にもあります。

3. 約35秒後にインディケーターは点滅から点灯になり、投影の準備が整います。

ご注意

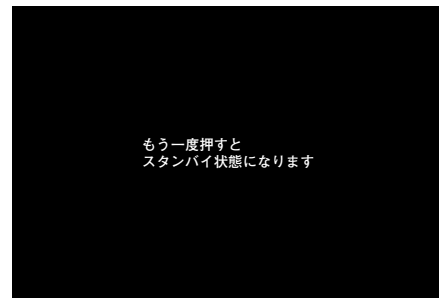
- STANDBY/ONインディケーターが緑色で点滅または点灯している間は、絶対に電源コードを抜かないでください。ランプの寿命低下や故障の原因となります。

■ 電源を切る

1. 使用が終わったら、STANDBY/ONボタンを押します。

確認のためのメッセージが表示されますので、電源を切りたい場合はもう一度STANDBY/ONボタンを押します。ランプが半点灯状態を経て消灯し、ここで約2分間、ランプの冷却のためファンが回転し、この間STANDBY/ONインディケーターが橙色で点滅します。

この状態ではSTANDBY/ONボタンを押して、再び電源を入れることはできません。



◆ メモ ◆

- 半点灯状態のとき、まれにランプが点滅することがありますが、これは故障ではありません。

2. 冷却が終ると、ファンは止まりSTANDBY/ONインディケーターは橙色の点灯となります。

ご注意

- ファンがまわりSTANDBY/ONインディケーターが橙色で点滅している間は、絶対に電源コードを抜かないでください。ランプの寿命低下や故障の原因となります。

3. 長時間使用しない場合は、レンズキャップをはめて、電源プラグをコンセントから抜いておいてください。

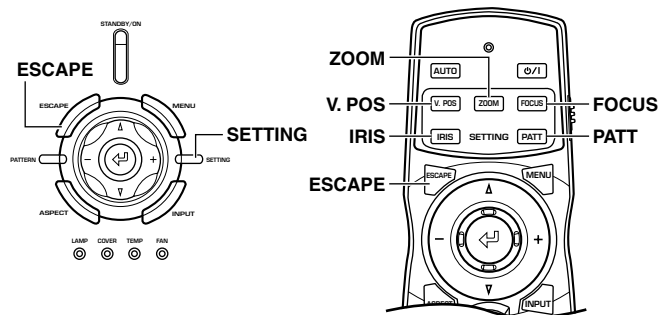
ご注意

- 環境温度が急激に変化すると、本機に結露が発生することがあります。また、映像がくもって投影された場合も結露の可能性があります。結露がなくなるまで、本機の電源を切ってください。結露が発生した状態で電源を入れると、故障の原因となります。

基本操作について

■ 投影する為の準備

投影する映像に対して各種調整を行い、最適な投影状態にします。



<V. POSによる垂直位置の調整>

初期設定状態で、本機はレンズ中心の延長線方向へ向かって上下左右真直ぐに映像を投影します。スクリーンが中心がレンズ中心の延長線から上または下にずれている場合は、V. POS機能により投影される映像の上下位置を調整します。調整できる範囲はスクリーンの高さの半分までです。

1. リモコンのV. POSボタンまたは本体のSETTINGボタンを繰り返し押しして垂直位置調整(レンズシフト)を選択します。
2. カーソルボタン△または▽を押し、適切な位置に合わせます。
3. 調整モードを終えるには、V. POSまたはESCAPEボタンを押します。

<ZOOMによるサイズの調整>

スクリーンと投影される映像のサイズを合わせる為に、投影する映像の拡大・縮小を行います。ズーム比は1:1.6です。

1. リモコンのZOOMボタンまたは本体のSETTINGボタンを繰り返し押ししてズーム調整(ズーム)を選択します。
2. カーソルボタン△または▽を押し、適切なサイズに合わせます。
3. 調整モードを終えるには、ZOOMまたはESCAPEボタンを押します。

<FOCUSによるピントの調整>

スクリーン上のピントの調整を行います。

1. まずリモコンのPATTボタンまたは本体のPATTERNボタンを押し調整用のテストパターンを投影します。
2. リモコンのFOCUSボタンまたは本体のSETTINGボタンを繰り返し押ししてフォーカス調整(フォーカス)を選択します。
3. カーソルボタン△または▽を押し、最適なピントとなる位置に合わせます。
4. 調整モードを終えるには、FOCUSまたはESCAPEボタンを押します。

<IRISによる絞りの調整>

本機には、ホームシアター用として重要な深い黒レベルを重視し高いコントラストを得る用途と、大きなスクリーンにより明るい映像を投影する用途を切替えるIRIS機能を装備していません。目的に応じてご使用ください。

1. リモコンのIRISボタンまたは本体のSETTINGボタンを繰り返し押しして絞り調整(アイリス)を選択します。
2. カーソルボタン+または-を押し、適切な選択をします。
3. 調整モードを終えるには、IRISまたはESCAPEボタンを押します。

<テストパターンによる調整>

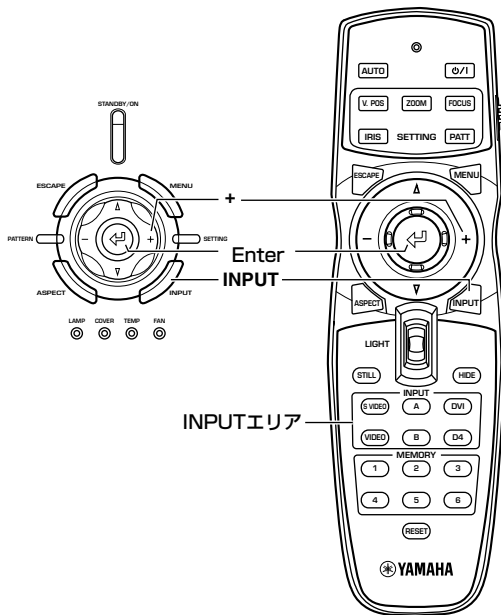
本機にはフォーカス調整や台形補正に必要なクロスハッチと、画質調整に有用なグレースケールとカラーバーの3種類のテストパターンが装備されています。種々の調整の際、ご利用ください。

1. リモコンのPATTボタンまたは本体のPATTERNボタンを押します。
2. カーソルボタン+または-を押し、必要なパターンの種類を選びます。
3. 調整モードを終えるには、PATTボタンまたは本体のPATTERNボタンを押します。

■ 入力を選ぶ

INPUTボタンを押すと、入力端子に関するメニューがスクリーンに表示されます。この中から端子名をカーソルボタン△、▽で選び、Enterボタンを押して確定します。

INPUT A、INPUT BおよびDVIについては、そのとき設定されている信号の種類がそのまま選択されます。変更する場合は、+ボタンでサブメニューを開き、コンポーネント/RGB PC/RGB TVの中から適切なものを選び、Enterボタンを押して確定します。リモコンのINPUTエリアからは、直接端子名を選ぶことができます。



入力信号	
VIDEO	
S VIDEO	
INPUT A	コンポーネント
INPUT B	RGB PC
DVI	RGB TV
D4	

入力ソース	投影する映像信号
VIDEO	VIDEO端子に入力されたAV機器からのコンポジットビデオ信号
S-VIDEO	S-VIDEO端子に入力されたAV機器からのSビデオ信号
INPUT A	<コンポーネント> INPUT AのBNC端子に入力されたコンポーネント信号
	<RGB PC> INPUT AのBNC端子に入力されたコンピューター機器からのRGB信号
	<RGB TV> INPUT AのBNC端子に入力されたAV機器のRGB信号
INPUT B	<コンポーネント> INPUT BのD-sub 15ピン端子に入力されたコンポーネント信号
	<RGB PC> INPUT BのD-sub 15ピン端子に入力されたコンピューター機器からのRGB信号
	<RGB TV> INPUT BのD-sub 15ピン端子に入力されたAV機器のRGB信号
DVI	<コンポーネント> AV機器からDVI端子に入力されたデジタルコンポーネント信号
	<RGB PC> コンピューターからDVI端子に入力されたデジタルRGB信号
	<RGB TV> AV機器からDVI端子に入力されたデジタルRGB信号
D4 VIDEO	D4 VIDEO端子に入力されたAV機器からのコンポーネント信号

◆ メモ ◆

- ノート型PCなどで、出力信号をPCの液晶ディスプレイと外部モニターの両方から出力する設定にすると、映像が外部モニターに正しく出ない場合があります。この場合には外部モニターのみを設定にしてください。詳しくは、コンピューターの取扱説明書を参照ください。

基本操作について

■ 表示アスペクトを選ぶ

入力信号に対して、どのような映像を投影するかを決めるのが表示アスペクトです。ASPECTボタンを押して最適なモードを選んでください。なお、入力信号に応じて使用できるアスペクトモードが異なります。また、入力信号にアスペクトに関する情報が含まれている場合、それを検出して自動的に表示アスペクトを変更するオートモードをもっています。ご活用ください。後述の「メニュー」②<信号>の表示アスペクトからも選択することができます。

- ① オート(ズーム)
入力信号がレターボックスかスクイーズで、ソースにその情報が含まれる場合、これを検出して自動的に最適モードに切替えます。
- ② ノーマル
入力のアスペクトを保持したまま、垂直方向を16:9のスクリーンいっぱい投影するモードです。左右に黒い帯が残ります。
- ③ スクイーズ
水平方向を圧縮して収録されたソフトを、もとのアスペクトに戻すモードで、スクイーズされたものはこれを経ることにより正常な横長のワイド映像となります。
- ④ スマートズーム
4:3の映像を、画面中央部分はそのままに左右両端を引伸ばして16:9のスクリーンいっぱい投影するモードです。
- ⑤ ズーム
レターボックスとして入力された映像を16:9のスクリーンいっぱい投影するモードです。
- ⑥ 字幕ズーム
字幕付きのレターボックスのビデオソフトを、スクリーン上に最適に投影するモードです。これには更に次の詳細項目があり、これらはメニューの②<信号>の中の表示アスペクトの字幕ズームの項で調整ができます。操作についてはP.24「特殊なもの」をご参照ください。
 - 字幕範囲
字幕の範囲を調整します。
 - 垂直スクロール
画面を上下に動かして字幕の位置を調整します。
- ⑦ スルー
入力された信号を拡大・縮小せずにそのまま投影するモードです。信号の解像度により表示される画面の大きさが変わります。
- ⑧ スルースクイーズ
入力された信号の水平方向のみを拡大して16:9のアスペクトで投影するモードです。信号の解像度により表示される画面の大きさが変わります。

【代表例】

入力信号の種類	入力イメージ	表示アスペクト	投影イメージ
通常の4:3映像		ノーマル →	
		スマートズーム →	
レターボックス		ズーム →	
		字幕ズーム →	
スクイーズ (ピスタサイズ)		スクイーズ →	
		スルースクイーズ →	
スクイーズ (シネマスコープサイズ)		スクイーズ →	
HDTV		ノーマル →	
RGB PC		ノーマル →	

■ その他の機能

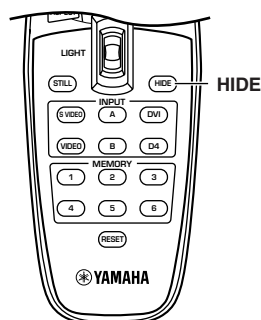
STILL(スティル)——静止画

投影している映像を静止画として見る場合は、リモコンのSTILLボタンを押します。戻すにはもう一度STILLボタンを押します。



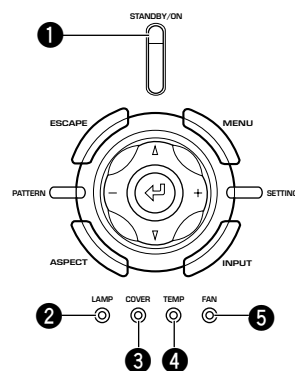
HIDE(ハイド)——映像消去

投影している映像を一時的に消したい場合は、リモコンのHIDEボタンを押します。再び映像を出すには、もう一度HIDEボタンを押します。



■ インディケータについて

本機には各種の状態を表示するために、5種類のインディケータがあります。



① STANDBY/ON

(本機前面にも表示LEDがあります。)

消灯	非通電状態
橙色点灯	スタンバイ状態
緑色点滅	動作準備中
緑色点灯	動作状態
橙色点滅	ランプ冷却中
赤色ほか点滅	LAMP/COVER/TEMP/FANのどれかが赤色点灯した場合

② LAMP

消灯	正常
橙色点滅	ランプ使用時間が2000時間を越えた場合
赤色点灯	ランプが切れた場合

③ COVER

消灯	正常
赤色点灯	ランプカバーやフィルターカバーの装着が不完全の場合

④ TEMP

消灯	正常
赤色点灯	ランプや内部温度が異常な高温になった場合

⑤ FAN

消灯	正常
赤色点灯	冷却用ファンが故障した場合

メニューの構成

本機では、それぞれの使用状況にあわせて最適な投影や動作を行うために、種々の「メニュー」の設定が必要です。メニューには4つのメニューグループがあり、各グループはいくつかのメニューアイテムで構成されています。これらのアイテムは、入力信号の種類（ビデオ・コンポーネント系、RGB TV系、RGB PC系）等により、選択できないものもあり、さらにいくつかのアイテムにはサブメニューがあり、3階層になっているものもあります。（次頁以降Sマークで表示）

各メニューグループには下記の項目があり、映像の状況や好みに応じて種々の調整・設定・選択ができます。次頁以降の説明をご覧の上、P.22以降に記載されているメニューの操作方法の手順に従ってそれらを行ってください。

① <画質>

投影される映像の画質を調整します。入力信号の種類により調整項目は異なります。

- 黒レベル（ブライトネス）
- 白レベル（コントラスト）
- ガンマ補正
- 色あい
- 色の濃さ
- 色温度
- シャープネスタイプ
- シャープネスゲイン
- カラーバランス
- レベル調整
- アイリス

② <信号>

入力される信号について各種の設定をします。入力信号の種類により設定項目は異なります。

- 表示アスペクト
- 3次元Y/C分離
- ノイズリダクション
- ビデオタイプ
- プログレッシブモード
- 色空間変換
- セットアップレベル (SDTV)
- セットアップレベル (HDTV)
- 信号レベル
- 同期調整
- トラッキング
- 水平方向表示位置
- 垂直方向表示位置
- 信号ステータス

③ <初期>

本機の通常の使用状態をいくつかの項目について予め設定しておきます。

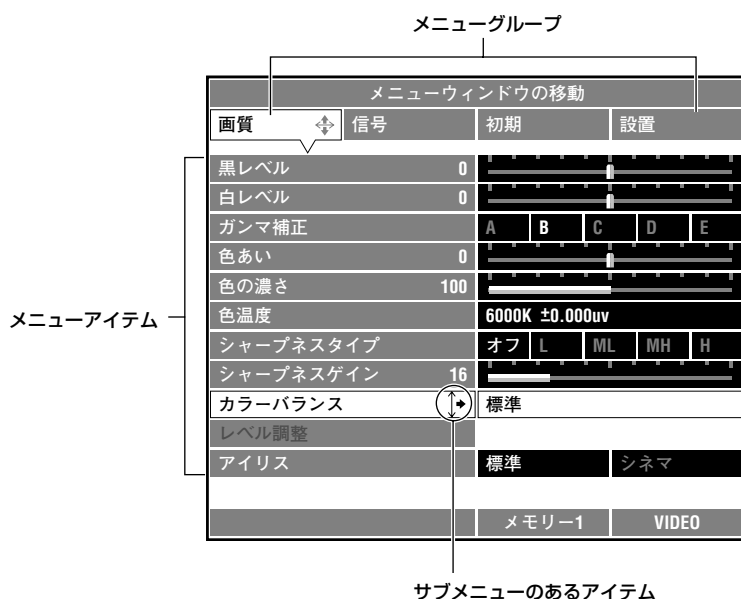
- カラー信号方式
- INPUT A入力信号
- INPUT A同期タイプ
- INPUT B入力信号
- INPUT B同期タイプ
- DVI入力信号
- 自動パワーオフ
- 自動入力切替
- 表示言語
- ランプ点灯時間
- リセット

④ <設置>

本機の設置方式や台形補正、リモコンなど設置に関する設定をしておきます。

- 設置状態
- 台形補正
- リモコン受光部
- リモコンID
- レンズ調整ロック
- ホワイトブースト
- エコノミーモード
- メニューカラー
- メッセージ
- トリガーアウト
- 通信速度

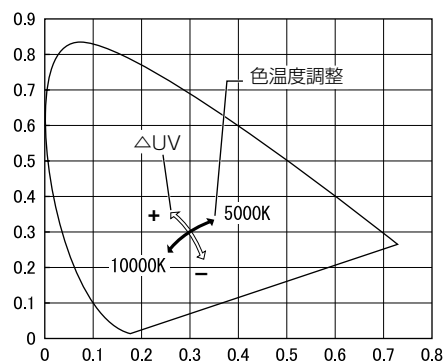
メニュースタート画面





① <画質> 入力信号がない状態ではこの調整はできません。

入力信号	項目	調整範囲
Video/Component, RGB TV	黒レベル 映像の暗い方(黒レベル)を、白のピークレベルを保ったまま調整します。+側は、暗いシーンの輝度が上がり階調ははっきりしますが、コントラストは低下します。-側は、暗いシーンが沈みコントラストのある映像になりますが、黒の階調は見えにくくなります。	-100~0~+100
Video/Component, RGB TV, *RGB PC	白レベル(*コントラスト) 映像の明るい方(白レベル)を、黒側の明るさを変えないで調整します。+側は、白の明るさが上がりコントラストははっきりしますが、白の階調は見えにくくなります。-側は、コントラストは低下します。	-100~0~+100 (*0.50~1.00~1.50)
*RGB PC	(*ブライツネス) 画像全体の明るさのこと。ブライツネス(輝度)を上げすぎると黒が浮き画像の白の部分が飽和気味となり、下げすぎると全体が暗くなります。	-100~0~+100
Video/Component, RGB TV, RGB PC	ガンマ補正 映像の色調や階調の応答特性を変えるもので、対応する10種類のパターンが用意されています。5種類のパターンの2枚のページがあり、<P>で切替えます。ご覧になるコンテンツに合わせてお好みのパターンを選んでください。	A/B/C/D/E a/b/c/d/e
Video/Component, RGB TV	色あい 色相あるいは色あいの設定のことで、-側に調整することより赤の方向に、+側に調整することにより青の方向に色あいがシフトします。	-100~0~+100
Video/Component, RGB TV	色の濃さ 色の濃さを表わす彩度のことで、-側で色が薄く、+側で色が濃く表現されます。	0~100~200
Video/Component, RGB TV, RGB PC	色温度 S 白色を赤みがかった色から青みがかった色の間と、緑がかった色からマゼンタがかった色の間で調整します。色温度が低いほど赤みを帯びて落ち着いた色調となり、高いほど青みを帯びたすがすがしい色調となります。また△UVが+になれば緑側に、-になればマゼンタ側に寄った色調となります。	5000K~6000K ~10000K (色温度) -0.020UV~±0.000 ~+0.020UV(△UV)

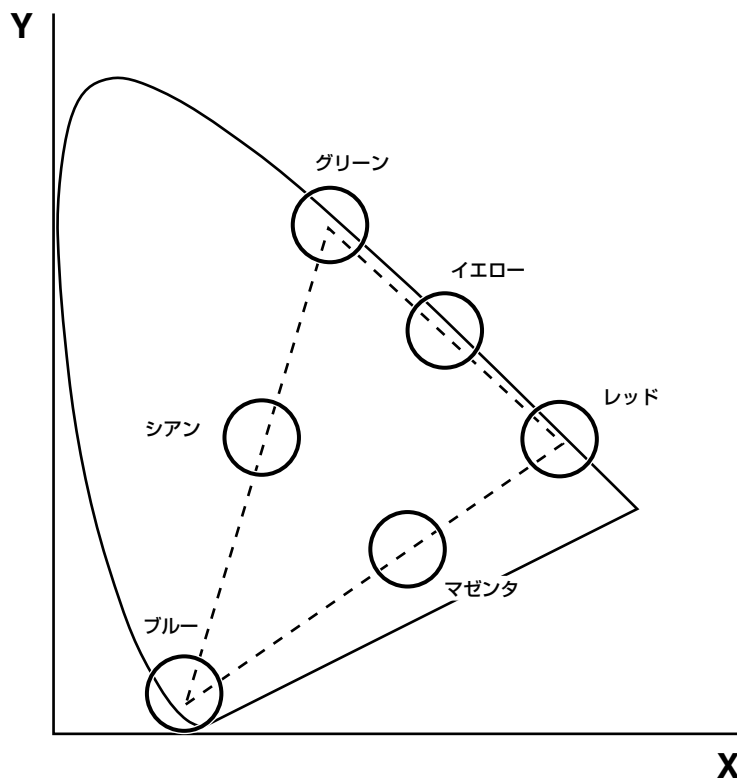
色温度



メニューの構成

入力信号	項目	調整範囲
Video/Component, RGB TV	シャープネスタイプ 投影される映像の縁取りをくっきりさせる回路に用いるフィルターの特性をかえます。	オフ/L/ML/MH/H
Video/Component, RGB TV	シャープネスゲイン 投影される映像の縁取りをくっきりさせる場合に用い、数値を大きくするとその度合いが増加します。数値を下げると映像を柔らかくソフトに表現したり、ノイズ成分を抑えることができます。	0~16~63
Video/Component, RGB TV, RGB PC	カラーバランス  「標準」の場合は、バランスの取れた標準的な設定値となり、調整はできません。 「RGB」の場合は、R(レッド)、G(グリーン)、B(ブルー)の三原色の色座標とゲインを調整できます。この時Y(イエロー)、C(シアン)、M(マゼンタ)の補色については、適切な値に自動設定されます。「RGB」のサブメニューで調整を行っているとき、リモコンのRESETボタンを押すと設定されている色温度とRGBの色座標にもとづき、RGBのゲインは自動的に最適な値に設定されます。 「RGBYCM」の場合は、それぞれの色座標とゲインを個別に調整できます。「RGBYCM」のサブメニューで調整を行っているとき、リモコンのRESETボタンを押すと設定されている色温度とRGBの色座標にもとづき、RGBのゲインおよびYCMの色座標とゲインが自動的に最適な値に設定されます。 概念的には、下記の色度図の各色の部分を参考に適宜調節してください。 色座標設定時に  キーを押すと、背景色を黒に変更することができます。	標準/RGB/RGBYCM

XYZ表色系色度図



Component, RGB TV, RGB PC

レベル調整

コンポーネント信号、RGB信号の入力信号の各要素(Y、C_B、C_R/R、G、B)について、そのゲインとオフセットを調整します。(DVI信号をのぞく)

-50~0~+50



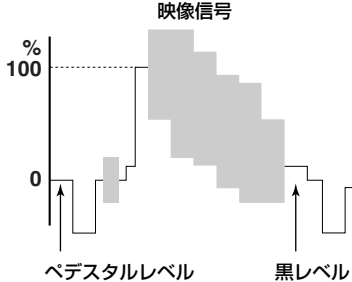

Video/Component, RGB TV, RGB PC

アイリス

大きなスクリーンにより明るい映像を投影する場合は標準に、ホームシアター用として重要な深い黒いレベルや高いコントラストを重視する場合はシネマに設定します。










標準/シネマ

■ ② <信号> 入力信号がない状態ではこの調整はできません。









入力信号	項目	選択
Video/Component, RGB TV, RGB PC	表示アスペクト  入力信号に対して、どのような縦横比の映像を投影するかを設定します。自動的に最適モードに切替えるオートや、入力信号をそのままの形で投影するノーマル(スルー)、スクイーズされた映像を元に戻すスクイーズ、ある比率で拡大するズーム、4:3の映像をスマートに16:9にするスマートズーム、字幕を表示する字幕ズーム、幅方向のみ拡大するスルースクイーズなどがあり、これらは信号の種類により選ぶ項目が異なってきます。 オートを選択していても入力ソースの状態によっては最適モードに切り替わらない場合があります。その場合はマニュアル選択してください。 字幕ズームには次の詳細メニューがあります。 字幕範囲:字幕の範囲の調整 垂直スクロール:字幕の位置の調整	オート/ノーマル/スクイーズ/スマートズーム/ズーム/字幕ズーム  (字幕範囲、垂直スクロール)/スルー/スルースクイーズ 0~3~10 -10~4~10 オフ/オン
Video(NTSC)	3次元Y/C分離 ビデオ入力時、特に細かな縦縞の映像に現れる虹状のクロスカラーや、輪郭部の目障りなドット妨害を押えます。この選択はコンポジット入力でのNTSC方式のみ有効です。	オフ/オン
Video/Component, RGB TV	ノイズリダクション 比較的ノイズが多いソースの場合、その輝度信号と色信号に含まれるノイズやざらつき等をデジタル処理で効果的に抑え、より鮮明な映像を投影することができます。ソースに応じて適宜選んでください。	オフ/1/2/3
Video	ビデオタイプ 入力するビデオソースがアナログビデオテープの再生映像の場合、同期を確実にする為にVCRを選んでください。その他のソースの場合はDVDに設定してください。	DVD/VCR
Video/Component, RGB TV	プログレッシブモード 内蔵のファロージャのインターレース/プログレッシブ(I/P)変換のモードを切替えます。オートは映画ソースを自動的に判別し、60フレームのプログレッシブで投影し、ビデオはこの判別機能をオフします。両方ともDCDI機能は動作します。(SDTVのインターレース信号のみ)	オート/ビデオ
Video/Component	色空間変換 SDTVのBT.601系信号の色空間変換係数とHDTVのBT.709系信号の色空間変換係数を選択します。オートでは、解像度に応じて最適な色空間変換係数を自動選択します。	オート/SDTV/HDTV
Video/Component, RGB TV	セットアップレベル(SDTV) 通常の映像信号の黒レベルの位置の違いを補正する為の項目で、厳密に言う、ベDESTALレベルとの差のない信号は0%、黒位置の高い信号は7.5%に設定します。	0%/7.5%
Component, RGB TV	セットアップレベル(HDTV) HDTVの映像信号の黒レベルの位置の違いを補正する為の項目で、厳密に言う、ベDESTALレベルとの差のない信号は0%、黒位置の高い信号は7.5%に設定します。	0%/7.5%
		
RGB TV	信号レベル 入力映像のデジタル信号レベルのレンジを切り替える機能です。標準的なSTB(Set Top Box)と接続する場合は16-235、出力機器からの信号レベルがPC互換の場合には、0-255を使用してください。(DVI信号のみ)	16-235/0-255
*RGB PC	同期調整 投影する映像に、ちらつき・乱れ・横ノイズがでる時に調整します。(*DVI信号をのぞく)	-128~0~127
*RGB PC	トラッキング 投影する映像に縦の縞模様がでる時に調整します。(*DVI信号をのぞく)	0~16~31
*RGB PC	水平方向表示位置 投影する映像の水平方向の位置を調整します。(*DVI信号をのぞく)	-50~0~50
*RGB PC	垂直方向表示位置 投影する映像の垂直方向の位置を調整します。(*DVI信号をのぞく)	-50~0~50
Video/Component, RGB TV, RGB PC	信号ステータス  入力されている映像信号の解像度を表示します。また、RGB系の入力では同期信号の情報も表示します。	

メニューの構成

■ ③ <初期>

項目	選択
カラー信号方式  ビデオ入力時のカラー信号方式を選択する項目で、NTSC、NTSC _{4.43} 、PAL、PAL-M、PAL-N、PAL60、SECAMの中から適切なものを選びます。通常はオートにしておく、方式を判別して自動的に切替わります。NTSC _{4.43} はオート対象外ですので入力信号がNTSC _{4.43} の場合はNTSC _{4.43} に設定してください。	オート/NTSC/NTSC _{4.43} /PAL/PAL-M/PAL-N/PAL60/SECAM
INPUT A 入力信号  A入力端子に入力される信号の種類を選択します。	コンポーネント/RGB PC/RGB TV
INPUT A 同期タイプ  INPUT Aに入力される信号の同期方式を選択します。(RGB TVのみ)	オート/Separate Sync/Composite Sync/Sync on Green
INPUT B 入力信号  B入力端子に入力される信号の種類を選択します。	コンポーネント/RGB PC/RGB TV
INPUT B 同期タイプ  INPUT Bに入力される信号の同期方式を選択します。(RGB TVのみ)	オート/Separate Sync/Composite Sync/Sync on Green
DVI入力信号  DVI入力端子に入力される信号の種類を選択します。	コンポーネント/RGB PC/RGB TV
自動パワーオフ 選択している入力端子の信号が途絶え、他の操作をせずに30分が経過すると、自動的にスタンバイ状態に移行する機能です。	オフ/オン
自動入力切替 現在、選択している入力端子の信号が無信号になった場合、または電源を入れたときに前回選択していた入力端子の信号が無信号だった場合に、自動的に次の順序で他の入力端子に切替わる機能です。 ↪ INPUT A → INPUT B → D4 VIDEO → S VIDEO → VIDEO → DVI	オフ/オン
表示言語  メニューの画面に表示される言語を選択します。	日本語/English/Deutsch/Español/Français/Italiano/Portuguêsa/한국어/中文
ランプ点灯時間  ランプの積算使用時間を表示します。サブメニューを開くと使用時間のリセットができます。	
リセット  メニューの各項目の設定などをすべて初期設定値に戻したり、メモリーとして設定した値をリセットしたりします。	全ての設定/全てのメモリー/ 現在選択中のメモリー

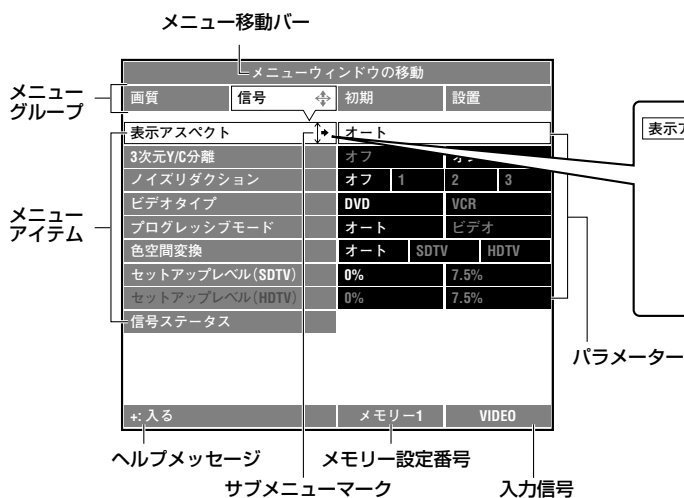
■ ④ <設置>

項目	選択
<p>設置状態 </p> <p>本機を設置するには、スクリーンの正面から投影する卓上置き、天井吊り、そして裏側からの卓上置き、天井吊りと四種類があります。この設置方法を設定することにより画像の逆転・反転を行ないます。</p>	<p>フロント/テーブル、フロント/天吊り、リア/テーブル、リア/天吊り</p>
<p>台形補正</p> <p>本機設置時に、スクリーンに対する投影角度が仰角または俯角を持っていると画面が台形に歪みます。この歪みを電子的に補正するのが台形補正で、画面の垂直方向の長さを変えずに、水平方向の歪みを補正します。上が広い場合はプラスに、下が広い場合はマイナス方向に調整してください。</p>	<p>-100~0~100</p>
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>画像の上方が拡がる場合</p>  <p>数値をプラス(+)方向に補正します。</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>画像の下方が拡がる場合</p>  <p>数値をマイナス(-)方向に補正します。</p> </div> </div>	
<p>リモコン受光部 </p> <p>本機には、リモコンからの信号を受光するセンサーが前後に2箇所あります。これを切替える設定です。ワイヤード接続の場合はどの設定にしても操作できます。</p>	<p>前&後/前/後/オフ</p>
<p>リモコンID </p> <p>リモコンの側面についているリモコンコード切替えスイッチで設定したIDと同じIDを設定することで、リモコンのコマンドを受付けます。ひとつのリモコンで本機を2台制御する時に切替えて使用します。</p>	<p>ID 1/ID 2</p>
<p>レンズ調整ロック</p> <p>レンズに関連する調整、「V. POS」、「ZOOM」、「FOCUS」の3つの項目の調整値を誤って変更しないようにロックします。解除するにはオフに設定します。</p>	<p>オフ/オン</p>
<p>ホワイトブースト</p> <p>投影される映像の白の部分の輝きを增強させます。</p>	<p>オフ/オン</p>
<p>エコノミーモード</p> <p>ランプの寿命を延ばす目的で、ランプに供給する電力を20%ほど下げます。</p>	<p>オフ/オン</p>
<p>メニューカラー </p> <p>画面にメニューを表示している時の文字や背景色を選択します。+または<戻る>ボタンを押してサブメニューに入ると色を変更できます。</p>	<p>モノトーン/カラー</p>
<p>メッセージ</p> <p>各種のメッセージを画面上に出すか出さないかの選択をします。</p>	<p>オフ/オン</p>
<p>トリガーアウト </p> <p>外部機器制御用のTRIGGER OUT端子の12V電圧出力を、ランプやファンに同期してオン/オフし、「RS-232C」選択時にはRS-232C端子からの制御によりオン/オフします。</p>	<p>ランプ連動/ファン連動/RS-232C</p>
<p>通信速度 </p> <p>RS-232C端子の通信速度を設定します。この設定は次回起動時より有効となります。</p>	<p>9600bps/19200bps/ 38400bps/57600bps/115200bps</p>

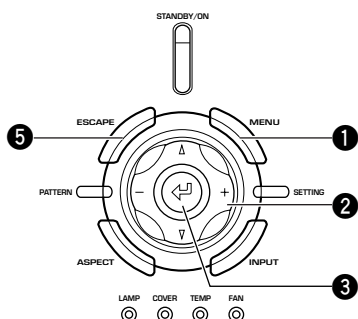
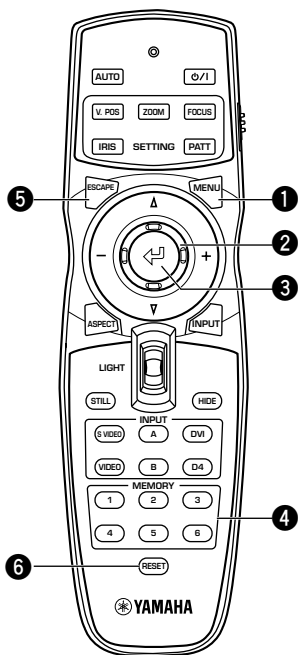
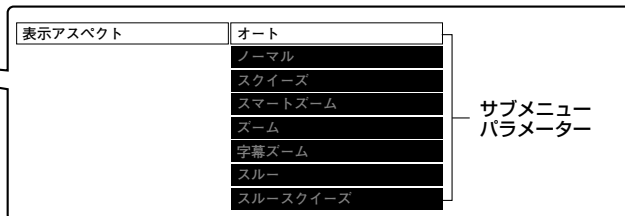
メニューの操作方法

■ メニュー画面と操作ボタン

メニュー画面の構造とメニューを操作するためのリモコンと本機コントロール部のボタンのはたらきを説明します。メニュー操作を正しく効率的におこなっていただくための基本的な情報ですので、操作を始める前に必ずお読みください。



メニューには4つのメニューグループがあり、各グループの中にメニューアイテムが含まれています。さらにいくつかのアイテムにはサブメニューもあり、3階層になっています。



① MENUボタン

メニューを開いたり、閉じたりします。

② カーソルボタン

+/- (カーソルの左右移動)

- メニューグループを選びます。
- サブメニューを開いたり、閉じたりします。
- 設定値を選んだり変更したりします。

△/▽ (カーソルの上下移動)

- メニューアイテムを選びます。
- 設定値を選んだり変更したりします。

③ 戻るボタン

- サブメニューを開きます。
- 変更した設定値を確認します。(“カラー信号方式”、“INPUT A入力信号”、“INPUT A同期タイプ”、“INPUT B入力信号”、“INPUT B同期タイプ”、“DVI入力信号”、“設置状態”、“リモコン受光部”、“リモコンID”を設定する場合)
- メニューが開いていない状態で、インライン画質メニューを開きます。

④ MEMORY 1～6ボタン(リモコンのみ)

メモリー設定を選びます。

⑤ ESCAPEボタン

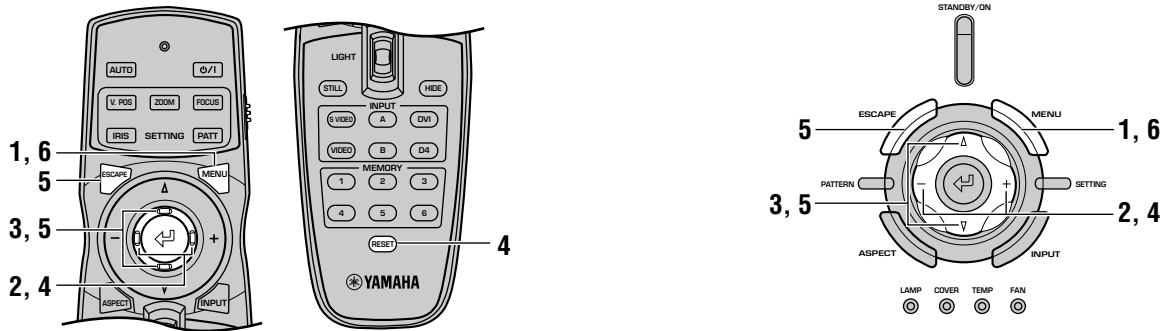
- カーソルをメニューアイテムの階層からメニューグループの階層に戻します。
- サブメニューを閉じます。
- カーソルがメニューグループにあるとき、メニュー画面を閉じます。
- メニューを移動した後、メニュー移動バーからメニュー入力画面に戻します。

⑥ RESETボタン(リモコンのみ)

パラメーターの値を初期設定に戻します。(初期設定のないアイテムは戻りません。)

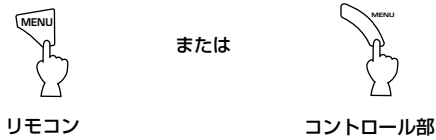
■メニューの基本操作

正しく投影するためにまずメニューグループ<設定>の設定・調整から行ってください。



1. MENUボタンを押して、メニュー画面を開きます。

既にメニュー画面を開いている場合は、前回メニュー操作を終えた画面が開きます。



メニューウィンドウの移動			
画質	信号	初期	設定
黒レベル		0	
白レベル		0	
ガンマ補正		A B C D E	
色あい		0	
色の濃さ		100	
色温度		6000K ±0.000uv	
シャープネスタイプ		オフ	L ML MH H
シャープネスゲイン		16	
カラーバランス		標準	
レベル調整			
アイリス		標準	シネマ
		メモリー1	VIDEO

2. +または-ボタンを押して、メニューグループを選びます。



メニューウィンドウの移動			
画質	信号	初期	設定
設置状態		フロント / テーブル	
台形補正		0	
リモコン受光部		前 & 後	
リモコンID		ID 1	
レンズ調整ロック		オフ	オン
ホワイトブースト		オフ	オン
エコノミーモード		オフ	オン
メニューカラー		モノトーン	
メッセージ		オフ	オン
トリガーアウト		ランプ連動	
通信速度		115200bps	
		メモリー1	VIDEO

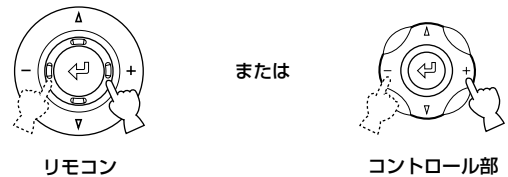
3. ▽ボタンを押して、メニューアイテムの階層へ入ります。

△または▽ボタンを押して設定したいアイテムを選びます。



メニューウィンドウの移動			
画質	信号	初期	設定
設置状態		フロント / テーブル	
台形補正		0	
リモコン受光部		前 & 後	
リモコンID		ID 1	
レンズ調整ロック		オフ	オン
ホワイトブースト		オフ	オン
エコノミーモード		オフ	オン
メニューカラー		モノトーン	
メッセージ		オフ	オン
トリガーアウト		ランプ連動	
通信速度		115200bps	
		メモリー1	VIDEO

4. +または-ボタンを押して、お好みの設定をします。



メニューウィンドウの移動			
画質	信号	初期	設定
設置状態		フロント / テーブル	
台形補正		0	
リモコン受光部		前 & 後	
リモコンID		ID 1	
レンズ調整ロック		オフ	オン
ホワイトブースト		オフ	オン
エコノミーモード		オフ	オン
メニューカラー		モノトーン	
メッセージ		オフ	オン
トリガーアウト		ランプ連動	
通信速度		115200bps	
		メモリー1	VIDEO

メニューの操作方法

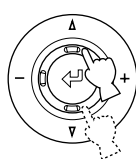
アイテムによって、ゲージの数値を増減する場合と文字または数字を選ぶ場合があります。



RESETボタンを押すと、選んでいるアイテムの設定が、初期設定に戻ります。(初期設定のないアイテムは戻りません。)

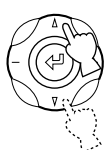
5. △または▽ボタンを押して、次に設定するアイテムへ移りません。

別のメニューグループのアイテムを設定したい場合は、ESCAPEまたは△ボタンで、今いるメニューグループに戻ります。手順2、3、4にしたがって設定をおこなってください。



リモコン

または



コントロール部

6. 設定が終わったら、MENUボタンを押してメニュー画面を閉じます。



リモコン

または



コントロール部

■ サブメニューについて

サブメニューがあるメニューアイテムは下表の通りです。選んだメニューアイテムによって操作手順が異なりますので、該当する操作手順グループの手順に従ってサブメニュー操作をしてください。

サブメニューのあるメニューアイテム

メニューグループ	メニューアイテム	操作手順グループ
画質	色温度	A
	カラーバランス	C
	レベル調整	C
信号	表示アスペクト	A
	信号ステータス	A*
初期	カラー信号方式	B
	INPUT A入力信号	B
	INPUT A同期タイプ	B
	INPUT B入力信号	B
	INPUT B同期タイプ	B
	DVI入力信号	B
	表示言語	A
	ランプ点灯時間	D
	リセット	D
設置	設置状態	A
	リモコン受光部	B
	リモコンID	B
	メニューカラー	A
	トリガーアウト	A
	通信速度	A

操作手順A: +または⇐ボタンでサブメニューを開きます。△または▽ボタン(色温度の場合は、△、▽、+、-ボタン)で設定を変更して、ESCAPEボタンでサブメニューを閉じます。

*“信号ステータス”は情報のディスプレイのみで設定変更はできません。

操作手順B: +または⇐ボタンでサブメニューを開きます。△または▽ボタンで設定を変更して、⇐ボタンで設定を確定し、サブメニューを閉じます。

操作手順C: +または⇐ボタンでサブメニューを開きます。△または▽ボタンでサブメニューアイテムを選んで+または-ボタンで値を設定します。

⇐ボタンで設定を確定する必要はありません。

操作手順D: +または⇐ボタンでサブメニューを開きます。サブメニューがメッセージ形式になっていますので、その指示に従って操作をすすめます。(P.26、27参照)

—特殊なもの—

一部のサブメニューアイテムには、詳細メニューアイテムがあります。詳細メニューアイテムがあるものは選択したときに“i”がアイテムの右側に表示されます。⇐ボタンで詳細メニューに入り、カーソルボタンで適宜設定してください。

■ サブメニューの基本操作

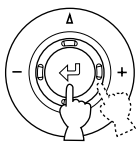
[操作手順A, B]

1. 「メニューの基本操作」の手順1～3にしたがって設定したいメニューアイテムを選びます。

サブメニューマーク“≡”がアイテムの右側に表示されます。

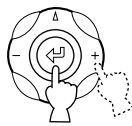
メニューウィンドウの移動			
画質	信号	初期	設置
表示アスペクト	オート		
3次元V/C分離	オフ	オン	
ノイズリダクション	オフ	1	2 3
ビデオタイプ	DVD	VCR	
プログレッシブモード	オート	ビデオ	
色空間変換	オート	SDTV	HDTV
セットアップレベル (SDTV)	0%	7.5%	
セットアップレベル (HDTV)	0%	7.5%	
信号ステータス			
+: 入る			
		メモリー1	VIDEO

2. +ボタンまたは⇐を押して、サブメニューを開きます。



リモコン

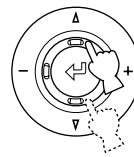
または



コントロール部

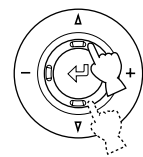
メニューウィンドウの移動	
画質	信号
表示アスペクト	オート
	ノーマル
	スクイーズ
	スマートズーム
	ズーム
	字幕ズーム
	スルー
	スルースクイーズ
ESCAPE: 戻る	
メモリー1 VIDEO	

3. △または▽ボタンを押して、お好みの設定をします。



リモコン

または



コントロール部

メニューウィンドウの移動	
画質	信号
表示アスペクト	オート
	ノーマル
	スクイーズ
	スマートズーム
	ズーム
	字幕ズーム
	スルー
	スルースクイーズ
ESCAPE: 戻る	
メモリー1 VIDEO	

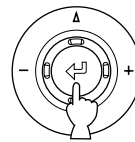
リモコンのRESETボタンを押すと、選んでいるアイテムの設定が初期設定に戻ります。(初期設定のないアイテムは戻りません。)

“カラー信号方式”、“INPUT A入力信号”、“INPUT A同期タイプ”、“INPUT B入力信号”、“INPUT B同期タイプ”、“DVI入力信号”、“リモコン受光部”、“リモコンID”を設定している場合には以下の手順Bが必要です。

[操作手順Bのみ]

設定が終わったら、⇐を押してください。新しい設定が確定され、前の画面に戻ります。

上記アイテムについては、設定を⇐ボタンで確定しないと、設定は変わりません。



リモコン

または



コントロール部

初期設定に戻りたいときは、サブメニューが開いた状態でRESETボタンを押してください。

4. 設定が終わったらMENUボタンを押してメニュー画面を閉じます。



リモコン

または



コントロール部

設定を続ける場合は、ESCAPEまたは-ボタンを押して前の画面に戻ってください。

メニューの操作方法

- サブメニュー操作—“カラーバランス”を設定する場合

【操作手順C】

1. 「メニューの基本操作」の手順1～3にしたがってメニューグループ<画質>のメニューアイテム“カラーバランス”を選びます。

サブメニューマーク“↕”がアイテムの右側に表示されます。

メニューウィンドウの移動			
画質	信号	初期	設置
黒レベル	0	[スライダー]	
白レベル	0	[スライダー]	
ガンマ補正		A B C D E	[スライダー]
色あい	0	[スライダー]	
色の濃さ	100	[スライダー]	
色温度	6000K ±0.000uv	[スライダー]	
シャープネスタイプ	オフ	L ML MH H	[スライダー]
シャープネスゲイン	16	[スライダー]	
カラーバランス		標準	↕
レベル調整			
アイリス		標準	シネマ
+: 入る		メモリー1	VIDEO

2. “RGBYCM”を設定する場合は▽ボタンで“RGBYCM”を選択し、+ボタンまたは↵を押してサブメニューを開きます。

メニューウィンドウの移動			
画質	信号	初期	設置
カラーバランス		標準	↕
		RGB	
		RGBYCM	↕
+: 入る		メモリー1	VIDEO

3. △または▽ボタンを押して、サブメニューアイテムを選びます。

メニューウィンドウの移動			
画質	信号	初期	設置
R 色座標		x=0.640 y=0.330	[スライダー]
R ゲイン	0.96	[スライダー]	
G 色座標		x=0.300 y=0.600	[スライダー]
G ゲイン	0.69	[スライダー]	
B 色座標		x=0.150 y=0.060	[スライダー]
B ゲイン	0.43	[スライダー]	
Y 色座標		x=0.428 y=0.499	[スライダー]
Y ゲイン	0.95	[スライダー]	
C 色座標		x=0.226 y=0.332	[スライダー]
C ゲイン	0.68	[スライダー]	
M 色座標		x=0.336 y=0.163	[スライダー]
M ゲイン	1.00	[スライダー]	
ESCAPE: 戻る		メモリー1	VIDEO

4. △または▽、+、-ボタンを押して、ゲージの数値を増減させて好みの設定にします。

RESETボタンを押すと、選んでいるパラメーターの設定が初期設定に戻ります。

メニューウィンドウの移動			
画質	信号	初期	設置
R 色座標		x=0.640 y=0.330	[スライダー]
R ゲイン	1.20	[スライダー]	
G 色座標		x=0.300 y=0.600	[スライダー]
G ゲイン	0.69	[スライダー]	
B 色座標		x=0.150 y=0.060	[スライダー]
B ゲイン	0.43	[スライダー]	
Y 色座標		x=0.428 y=0.499	[スライダー]
Y ゲイン	0.95	[スライダー]	
C 色座標		x=0.226 y=0.332	[スライダー]
C ゲイン	0.68	[スライダー]	
M 色座標		x=0.336 y=0.163	[スライダー]
M ゲイン	1.00	[スライダー]	
ESCAPE: 戻る		メモリー1	VIDEO

5. MENUボタンを押して、メニュー画面を閉じます。

設定を続ける場合は、ESCAPEボタンを押して前の画面に戻ってください。-ボタンでは戻れません。

- サブメニュー操作—“ランプ点灯時間”をリセットする場合

【操作手順D】

1. 「メニューの基本操作」の手順1～3にしたがってメニューグループ<初期>のメニューアイテム“ランプ点灯時間”を選びます。

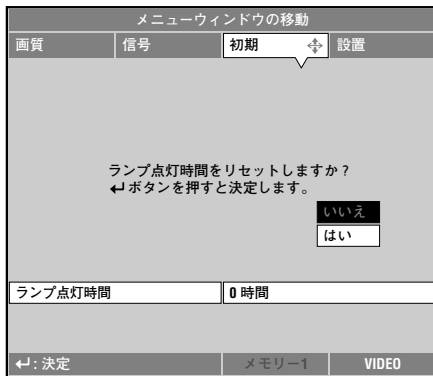
サブメニューマーク“↕”がアイテムの右側に表示されます。

メニューウィンドウの移動			
画質	信号	初期	設置
カラー信号方式		オート	
INPUT A 入力信号		コンポーネント	
INPUT A 同期タイプ		オート	
INPUT B 入力信号		RGB PC	
INPUT B 同期タイプ		オート	
DVI入力信号		RGB PC	
自動パワーオフ		オフ	オン
自動入力切替		オフ	オン
表示言語		日本語	
ランプ点灯時間		0 時間	↕
リセット			
+: 入る		メモリー1	VIDEO

2. +ボタンまたは↵を押して、メッセージ画面を開きます。

メニューウィンドウの移動			
画質	信号	初期	設置
ランプ点灯時間をリセットしますか？ ↵ボタンを押すと決定します。			
いいえ はい			
ランプ点灯時間		0 時間	
↵: 決定		メモリー1	VIDEO

3. △または▽ボタンで「はい」を選んで↵を押します。
ランプの使用時間が0時間に戻ります。

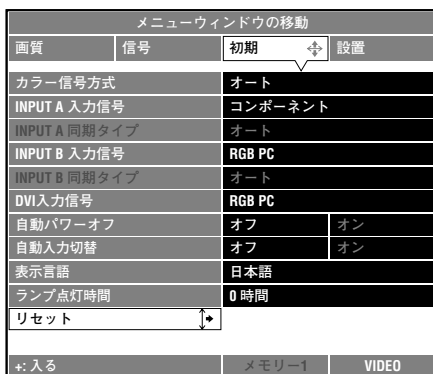


4. MENUボタンを押して、メニュー画面を閉じます。

● サブメニュー操作—“リセット”をする場合

【操作手順D】

1. 「メニューの基本操作」の手順1～3にしたがってメニューグループ<初期>のメニューアイテム“リセット”を選びます。
サブメニューマーク“↑”がアイテムの右側に表示されます。



2. +ボタンまたは↵を押して、サブメニューを開きます。



3. △または▽ボタンを押して、リセットしたいサブメニューアイテムを選びます。



4. +ボタンまたは↵を押して、メッセージ画面を開きます。

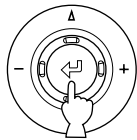


5. ↵を押して初期設定に戻します。

メニューの操作方法

■ インライン画質メニュー

1. メニュー画面が開いていない状態で、**ESC**ボタンを押します。
画質メニューアイテムが画面下部に1つずつ表示されます。
5秒以内に操作しないと、メニュー表示は消えます。

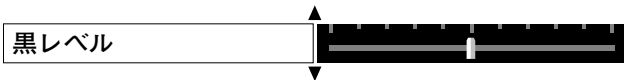


リモコン

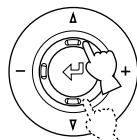
または



コントロール部

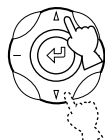


2. **△**または**▽**ボタンを押して、設定したいアイテムを選びます。

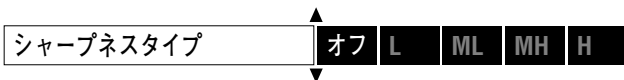


リモコン

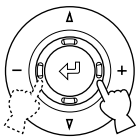
または



コントロール部

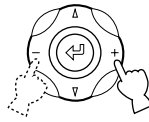


3. **+**または**-**ボタンを押して、お好みの設定をします。

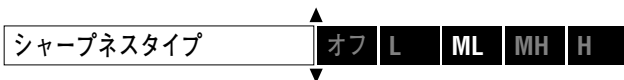


リモコン

または



コントロール部



RESETボタンを押すと、選んでいるアイテムの設定が初期設定に戻ります。

4. 設定が終わったら、**ESCAPE**ボタンを押してメニュー表示を閉じます。



リモコン

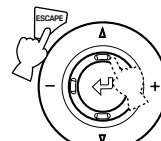
または



コントロール部

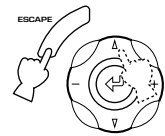
■ メニュー画面の移動

1. **ESCAPE**または**△**ボタンを押して、カーソルをメニューグループのいずれかへ移動します。



リモコン

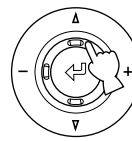
または



コントロール部

メニューウィンドウの移動			
画質	信号	初期	設置
設置状態		フロント / テーブル	
台形補正	0		
リモコン受光部		前 & 後	
リモコンID		ID 1	
レンズ調整ロック		オフ	オン
ホワイトブースト		オフ	オン
エコノミーモード		オフ	オン
メニューカラー		モノトーン	
メッセージ		オフ	オン
トリガーアウト		ランプ連動	
通信速度		115200bps	
		メモリー1	VIDEO

2. **△**ボタンを押して、“メニューウィンドウの移動”に入ります。



リモコン

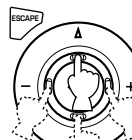
または



コントロール部

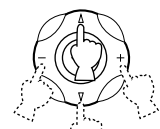
メニューウィンドウの移動			
画質	信号	初期	設置
▲			
+			
▼			
◀ ▶			
ESCAPE: 戻る		メモリー1	VIDEO

3. **+**、**-**、**△**、**▽**ボタンを押して、メニュー画面を上下左右に移動します。



リモコン

または



コントロール部

4. お好みの位置へ移動したら、**ESCAPE**ボタンを押して、メニュー入力画面に戻ります。



リモコン

または



コントロール部

メモリー機能について

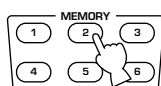
入力ソースに最適なメニュー設定を6種類の入力端子ごとに6通りメモリーしておくことができます。メモリーできるメニューアイテムは下記の通りです。メモリー番号の1～6には、それぞれ初期設定がメモリーされています。入力ソースに合わせてお好みの設定を選んでください。入力信号の種類により選択できないものもあります。また、それぞれのメモリー番号にメモリーされているパラメーターの設定をお好みに応じて変更することもできます。

画質	信号
黒レベル(ブライトネス) 白レベル(コントラスト) ガンマ補正 色の濃さ 色あい 色温度 シャープネスタイプ シャープネスゲイン カラーバランス レベル調整 アイリス	3次元 Y/C 分離 ビデオタイプ プログレッシブモード 色空間変換 セットアップレベル 信号レベル

■メモリー番号を選ぶ

リモコンで操作する場合

MEMORYボタンの1～6の中からお好みのメモリー設定のボタンを押します。

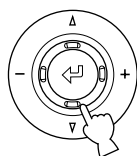


メニューで操作する場合

1. MENUボタンを押して、メニュー画面を開きます。

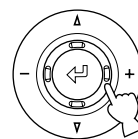


2. ▽ボタンを押して、画面最下部の“メモリー番号ステータス”に入ります。



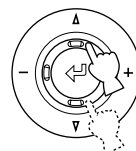
メニューウィンドウの移動			
画質	信号	初期	設置
表示アスペクト	オート		
3次元Y/C分離	オフ	オン	
ノイズリダクション	オフ	1	2 3
ビデオタイプ	DVD	VCR	
プログレッシブモード	オート	ビデオ	
色空間変換	オート	SDTV	HDTV
セットアップレベル(SDTV)	0%	7.5%	
セットアップレベル(HDTV)	0%	7.5%	
信号ステータス			
←: 戻る	メモリー-1	VIDEO	

3. +ボタンを押して、サブメニューを開きます。



メニューウィンドウの移動			
画質	信号	初期	設置
メモリー-1 メモリー-2 メモリー-3 メモリー-4 メモリー-5 メモリー-6			
ESCAPE: 戻る	メモリー-6	VIDEO	

4. △または▽ボタンを押して、お好みのメモリー設定の番号を選びます。



5. ESCAPEボタンを押して、サブメニューを閉じます。



メモリー機能について

■ 初期設定に戻す

1つのパラメータの場合

P.23の「メニューの基本操作」の手順に従って、初期設定に戻したいパラメータを開きます。リモコンのRESETボタンを押して、初期設定に戻します。(初期設定のないアイテムは戻りません。)

現在選んでいるメモリー番号の全てのパラメーターの場合

P.27の「サブメニューの操作—“リセット”をする場合」の手順に従って、サブメニューの“現在選択中のメモリー”を選びます。+または←ボタンを押すと確認のメッセージ画面が開きます。←ボタンを押して初期設定に戻します。



1～6までの全てのメモリー番号のパラメーターの場合

P.27の「サブメニューの操作—“リセット”をする場合」の手順に従って、サブメニューの“全てのメモリー”を選びます。+または←ボタンを押して確認のメッセージ画面を開きます。←ボタンを押して初期設定に戻します。



■用語解説

プロジェクターに関して、映像信号と基本操作に関連したキーワードをまとめてみました。取扱いの際の参考にしてください。

なお、メニューの中の用語については、それぞれの項目で説明がされています。

DLP™方式

米国TI社の開発したDMD™素子を用いたプロジェクターの、画像表示エンジンとしての呼称で、Digital Light Processingの略。

DCDi™機能

Directional Correlational Deinterlacingの略で、ファローージャ社が開発した高画質回路の機能の名称。最先端のエッジカッティング技術でインターレース→プログレッシブ変換時のキザキザをなくし、スムーズで自然な画像を再現することができる。

コンポーネントビデオ信号

輝度信号と色信号を独立して伝送する方式で、通常のコンポジットビデオ信号に比べ、混合・分離回路を経由しないので高品質の情報が得られる。輝度信号(Y)と二つの色差信号(P_B/C_B, P_R/C_R)の三本のラインで伝送される。

Sビデオ信号

輝度信号(Y)と色信号(C)を分離して伝送する方式で、接続には専用の端子(4ピンミニDIN)とケーブルを使用する。SはSeparateの略。

コンポジットビデオ信号

ビデオ信号の最も一般的な伝送方式で、輝度信号と色信号を合成して、一本のラインで伝送する。送受信側の両方で混合・分離のプロセスが必要となる。接続にはピンケーブルが用いられる。

RGB信号

赤、緑、青の光の三原色を数値化して、個別にその色情報を伝送する方式で、受信側ではそれを加色混合してさまざまな色を表現する。コンピューター機器間でのカラー画像の授受に広く用いられる。水平・垂直の同期信号も併せて必要となる。

HDTV

High-Definition Televisionの略で、次の条件を満たす高精細なシステムに適用される。

- 垂直解像度720p、1080i以上(pはプログレッシブ走査、iはインターレース走査)。
- 画面のアスペクト比は16:9

SDTV

Standard Definition Televisionの略で、HDTVの条件を満たさない標準テレビジョン放送のこと。

D端子

最新のAV機器間での映像信号の伝送に用いられる端子で、コンポーネントビデオ信号を一本の専用ケーブルで接続できる。その性能に応じてD1からD5に分けられ、本機はD4対応である。

DVI端子

コンピューター機器またはAV機器からのデジタルのRGB/コンポーネント信号を差動で伝送する方式で、24ピンの専用端子とケーブルを使用する。

スタンバイ

本体とリモコンからの電源オンの信号を受信する為の回路だけをアクティブにして、その他の主回路はオフの状態にある時(待機状態)のこと。この場合わずかな電力を消費する。

テストパターン

スクリーンに投影する映像の位置やフォーカス等を調整する為に、試験的に投影する内蔵されたパターンである。

インターレース

通常のテレビジョンの走査方式で、一画面を偶数奇数の二つのフィールドに分けて走査し、この二つのフィールドでひとつの画面(フレーム)を構成する。

プログレッシブ

ひとつの画面(フレーム)のすべての走査線を一度に表示するもので、大画面にすると気になるチラツキがなく、緻密で滑らかな映像が得られる。本機での投影は、すべてこのプログレッシブ方式で行なわれる。

3-2プルダウン検出型IP変換

映画フィルムと同じ24フレームで記録された映像ソースが60フィールドのインターレース信号で入力された場合にそれを検出・判断して、60フレームのプログレッシブ信号へと直接変換する機能である。これにより、24フレームで記録されたDVDソフトなどを大画面に映し出す場合にも、映画フィルムの質感を損なわず、自然で緻密な映像として再生できる。

同期(Sync.)

コンピューターから出力される信号は、ある決まった周波数で出力され、その周波数にプロジェクターの周波数を合わせないときれいな映像にならない。信号の位相を合わせることが同期を合わせるといい、同期が合っていないと投写映像にちらつき、ぼやけ、横方向のノイズが出る。

トラッキング

コンピューターから出力される信号は、ある決まった周波数で出力され、その周波数にプロジェクターの周波数を合わせないときれいな映像にならない。信号の周波数を合わせることがトラッキングを合わせるといい、トラッキングが合っていないと投写映像に幅広の縞模様が出る。

* DLP™およびDMD™は米国TI社の登録商標です。

* はGenesis Microchip社の事業部門であるFaroudjaの登録商標です。

HDCP

HDCPはDVIによって接続された機器間のビデオ信号を守る技術である。

アスペクト/ASPECT

基本的には、画像の縦横比をアスペクト比という。

天吊金具

本機を天井から吊るす形で設置する場合に使用する別売の専用の吊り金具で、その高さにより、低天井用と高天井用の2種類が用意されている。

台形補正/KeyStone

本機設置時に、スクリーンに対して投影角度が直角ではないと画面が台形にひずむ。この歪みを電子的に補正するのが台形補正である。

レターボックス

横長の映画コンテンツを4:3の信号の中に収める時の方法の一つで、画面の上下に黒い帯を入れることにより横長の映像をトリミングなしで見ることができる。ただし、垂直の解像度は若干犠牲となる。

スクイーズ

横長の映画フィルムをビデオソフトにする際に、水平方向を4:3のサイズにいれるように圧縮して収録すること。そのままでは縦長の映像となるので、再生に際しては、圧縮をもとに戻す回路を通して見る必要がある。

スマートズーム

入力された4:3の映像をワイドに投影したい場合、中央部分はほぼそのままに、両端部分を引伸ばして16:9の横長サイズにすること。両端部分では若干の歪みをとまなう。

ビスタサイズ

映画フィルムのサイズのひとつで、アスペクト比は北米で1.85:1で、ヨーロッパでは1.66:1である。

シネマスコープサイズ

70mmのフィルムを用いて撮影された最も横長のサイズで、アスペクト比は2.35:1である。

色空間変換

カラー信号を伝送するYUV色差信号をRGB信号に変換することをいい、その際の係数はSDTVのBT.601系信号とHDTVのBT.709系信号では微妙に異なるので、本機ではこれを必要に応じて切替えることができる。

■ 投影できる信号について

本機で投影可能な信号の種類・フォーマットを下記に示します。
 これ以外の信号に対しては、正しい投影が出来なくなる場合がありますのでご注意ください。

1. TVフォーマット① ----- (入力端子VIDEO、S-VIDEOへのコンポジットまたはSビデオ信号入力)

信号の種類	V active (lines)	f (v) (Hz)	fsc (MHz)	カラー方式
NTSC	480	59.94	3.58	NTSC
PAL	576	50.00	4.43	PAL
SECAM	576	50.00	4.406, 4.25	SECAM
PAL60	480	59.94	4.43	PAL
NTSC _{4,43}	576	59.94	4.43	NTSC
PAL-M	480	59.94	3.58	PAL
PAL-N	576	50.00	3.58	PAL

2. TVフォーマット② ----- (入力端子INPUT A、B、DVIへのコンポーネント/RGB TV信号入力およびD4、DVIへのコンポーネント信号入力)

信号の種類	H active (pixels)	V active (lines)	f (H) (kHz)	f (V) (Hz)
480i*	720	483	15.734	59.940
576i*	720	576	15.625	50.000
480p	720	480	31.469	59.940
576p	720	576	31.250	50.000
720p/50Hz	1280	720	37.500	50.000
720p/60Hz	1280	720	45.000	59.940
1035i*	1920	1035	33.750	60.000
1080i/50Hz	1920	1080	28.125	50.000
1080i/60Hz	1920	1080	33.716	59.940

・ DVIデジタルコンポーネントフォーマットはYCbCr 4:4:4(8bit x 3)のみをサポートしています。

* 入力端子がDVIの場合、受信の対象外になります。

3. PCフォーマット① ----- (入力端子INPUT A、BへのアナログRGB PC信号入力)

	信号の種類	H active (pixels)	V active (lines)	f (H) (kHz)	f (V) (Hz)
VESA	VGA/60Hz	640	480	31.469	59.940
	VGA/72Hz	640	480	37.861	72.809
	VGA/75Hz	640	480	37.500	75.000
	VGA/85Hz	640	480	43.269	85.008
	SVGA/56Hz	800	600	35.156	56.250
	SVGA/60Hz	800	600	37.879	60.317
	SVGA/72Hz	800	600	48.077	72.188
	SVGA/75Hz	800	600	46.875	75.000
	SVGA/85Hz	800	600	53.674	85.061
	XGA/60Hz	1024	768	48.363	60.004
Apple	Mac 13"	640	480	35.000	66.666

* VESAはVideo Electronics Standards Associationの登録商標です。

* MacintoshはApple Computer社の登録商標です。

4. PCフォーマット② ----- (入力端子DVIへのデジタルRGB信号入力)

接続するコンピュータによっては投影できない場合もあります。

	信号の種類	H active (pixels)	V active (lines)	f (H) (kHz)	f (V) (Hz)
VESA	VGA/60Hz	640	480	31.469	59.940
	SVGA/60Hz	800	600	37.879	60.317
	XGA/60Hz	1024	768	48.363	60.004
	1280x720/60Hz	1280	720	45.000	59.940

■ メッセージの表示

メッセージ	状況
入力信号がありません。	入力信号がないとき、または検出できないときに、INPUTボタンで選んだ入力端子名と一っしょに表示されます。
INPUT A<コンポーネント>(例)	INPUTボタンで選んだ入力端子名が表示されます。信号が入力されると2秒後に消えます。
無効な信号です。	PC系の信号が入力されていますが、受信できません。
検出できません。	ビデオ系の信号が入力されていますが、受信できません。
自動検出しています。	入力されているRGB信号を検出してその信号に応じた最適な設定をしています。
メモリー1~6	メモリー設定を選ぶとその番号が表示され、2秒後に消えます。
ランプ交換の推奨時間になりました。新しいランプに交換してください。	ランプの使用時間が2000時間を越えると、電源を入れた際にこのメッセージが表示されます。ESCAPEボタンを押して表示を消します。
もう一度押すとスタンバイ状態になります。	もう一度押すとスタンバイ状態になってランプが消えます。
スクイーズ(例)	ASPECTボタンで選んだ表示アスペクトモード名が表示されます。2秒後に消えます。
レンズ調整機能はロックされています。	「レンズ調整ロック」がオンの時にV. POS、ZOOM、FOCUSボタンを押した場合に表示され、2秒後に消えます。

メンテナンスについて

■ 日常のお手入れ

お手入れの前には必ず電源コードを抜いてください。

<本体>

柔らかい布で拭いてください。汚れのひどい時は、水でうすめた中性洗剤に浸した布を固く絞って拭取り、乾いた布で仕上げてください。

シンナーやベンジンなどの溶剤は、変質や変形することがありますので使わないでください。

<レンズ>

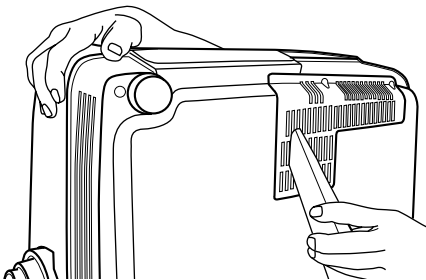
レンズの汚れは市販のブローワーやレンズクリーニングペーパーなどで軽く拭き取ってください。

<フィルター>

吸気口のフィルターに埃がたまると、空気の流れが悪くなり、内部温度が上昇し、故障の原因となります。

約200時間毎に掃除を行ってください。

電源プラグをコンセントから抜いて、掃除機でフィルターの埃を吸い取ります。

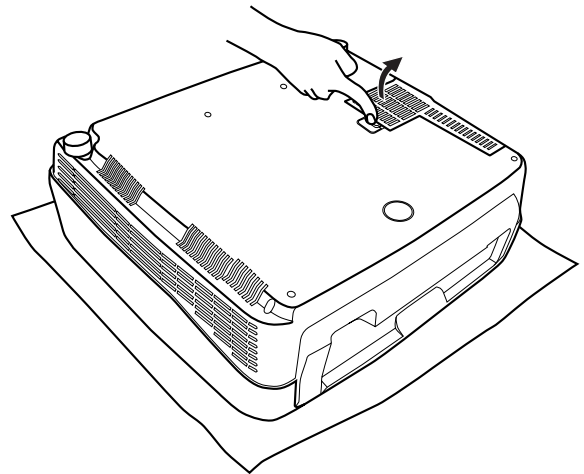


フィルターの中にゴミが入らないように必ず本機を立てたまま掃除機で埃を吸い取ってください。

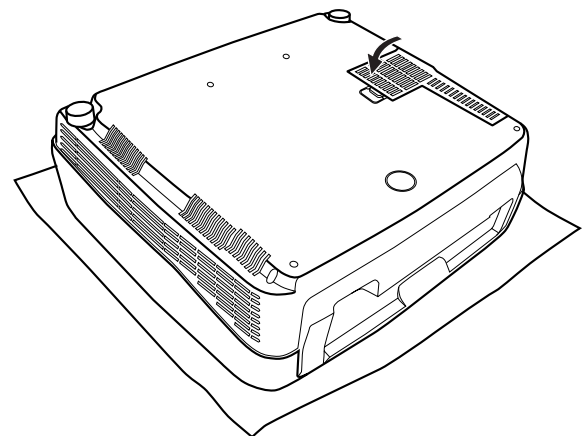
■ フィルターの交換

フィルターの埃が落ちにくくなった時は、新しいものと交換してください。

1. 電源を切り、電源コードを抜きます。
2. 傷がつかないように布などを敷き、その上に本機を注意深く裏返しに置きます。
3. 本機底面にある、フィルターのフック部分のくぼみに指をかけて押しながらフィルターを外します。



4. 新しいフィルターをきちんと取り付けてください。取付けが不完全だと、ランプが点灯しません。



ご注意

- 交換用フィルターが必要な場合には、ヤマハ電気音響製品サービス拠点にお問合せください。

メンテナンスについて

■ ランプの交換

ご注意

- ・ 専用の交換用ランプカートリッジP JL-327を必ずお使いください。それ以外のランプカートリッジは本機にはご使用になれません。

光源に用いられているランプは消耗品であり、使用するにしたがって徐々にその輝度が低下していきます。最良の映像をお楽しみいただくには、使用時間が2000時間になった時を目処にランプの交換を推奨します。

ランプの使用時間は「メニュー」の③<初期>の項目で知ることができます。また、2000時間を超えるとLAMP異常インディケータが点滅します。(P.15参照)

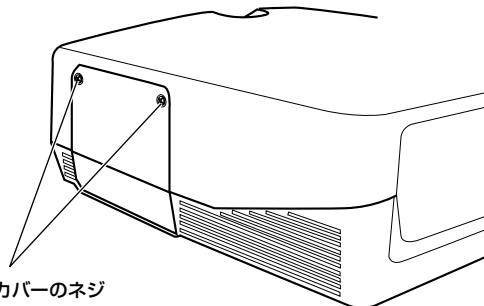
また画面上に交換をうながすメッセージが表示されます。この場合は、以下の手順に従ってランプカートリッジを交換してください。

交換に際しては、専用の交換用ランプカートリッジP JL-327をご使用ください。これ以外のものは使用できません。交換用ランプカートリッジについては、お買上げ店にご相談ください。

ご注意

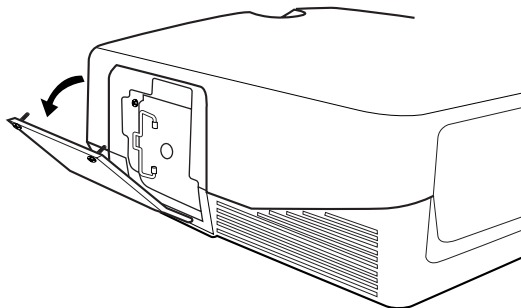
- ・ ランプカートリッジの交換は、電源を切り、ファン停止後電源コードを抜き、1時間後ランプが充分冷えてから行ってください。
- ・ 指定のネジ以外は外さないでください。

1. ランプカバーのネジをゆるめる。



ランプカバーのネジ

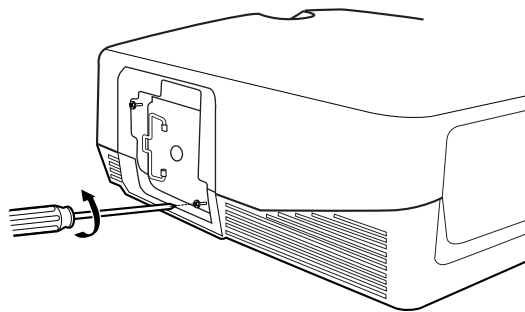
2. ランプカバーを外します。



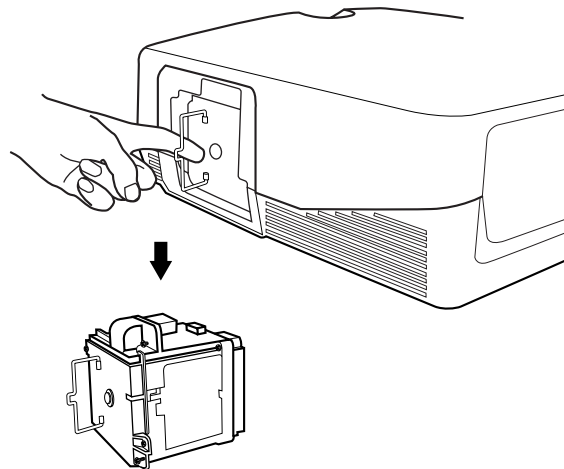
ご注意

- ・ 天吊り設置の状態ではランプを交換する場合は、カバーやランプが落下しないよう充分ご注意ください。

3. ランプカートリッジの2本のネジを完全にゆるめる。



4. 把手をつかみランプカートリッジを引抜き、取出します。



5. 新しいランプカートリッジを、逆の順序で元のように取付け、ネジを締め、しっかりと固定します。

6. ランプカバーを取付け、ネジを締めます。

カバーの取付けが不完全だと、ランプが点灯しませんので確実に取付けてください。

7. 電源を入れて、投射状態になったら「メニュー」の③<初期>“ランプ点灯時間”をリセットします。(P.20参照)

故障かなと思ったら

症状	原因	対処方法
電源が入らない	電源コードが抜けている	電源コードをきちんと差し込む
	電源を切った直後に電源をいれようとしている	電源を切った後2分以内はランプの保護のため電源は入りません
	フィルターが外れている	フィルターをしっかりとはめる
	ランプカバーが外れている	ランプカバーをしっかりとはめる
映像が映らない	レンズキャップがついたままになっている	レンズキャップを外す
	外部機器との接続ケーブルが正しく接続されていない	接続を確認する
	入力信号の切り換えが正しくない	INPUTボタンで正しく選ぶ
		リモコンのAUTOボタンを押す
	入力信号の設定が正しくない	信号の設定を「メニュー」により入力信号にあわせて設定する
	映像が消されている	リモコンのHIDEボタンを押して解除する
コンピューターの外部モニターの設定が正しくない	外部モニターへの出力信号を適切に設定する(コンピューターの取扱説明書も併せて参照ください)	
画面が乱れる	接続ケーブルの接触不良	接続ケーブルを端子にしっかりとはめる
映像がぼやける	フォーカスが合っていない	フォーカスボタンを押し、ピントを調整する
	本機とスクリーンが直角になっていない	直角になるように投影角度・向き・設置する、高さを調整する
画面がくもる	結露が発生している	結露がなくなるまで、電源を切っておく
フォーカスやズーム、垂直位置等のレンズ調整ができない	メニューの「レンズ調整ロック」がオンになっている	「レンズ調整ロック」をオフにする
リモコンが正しく動作しない	乾電池が消耗している	2本とも新しい乾電池に交換する
	リモコン受光部の設定が正しくない	「メニュー」により正しく設定する
	リモコン受光部の近くに蛍光灯がある	その方向の受光部を設定からはずす
	リモコンコード切替えスイッチの設定が正しくない	リモコンコード切替えスイッチの設定を「リモコンID」の設定にあわせる
COVER異常インディケータが点灯する	フィルターがはずれている	フィルターをしっかりとはめる
	ランプカバーが閉まっていない	ランプカバーをしっかりと閉める
LAMP異常インディケータが点灯または点滅する	ランプの使用時間が2000時間を超えている	ランプを交換する
	ランプが切れている	ランプを交換する
TEMP異常インディケータが点灯する	内部が異常に高温になっている	吸気口・排気口がふさがれてないか確認する
FAN異常インディケータが点灯する	ファンが故障している	お買い上げ店またはヤマハ電気音響製品サービス拠点に相談ください

- 本機には、画像の表示のためにDMD™素子が使われています。
DMD™素子は高精度技術で製造されており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下での無効画素が発生することがあります。
DMD™素子の特質上、本機の投影画面に少数の画素(ドット)欠けや常時点灯する画素が見られることがありますが、これは故障ではありません。

仕様

■仕様

光学系

投影方式..... DLP™方式
1280×720画素、0.8 inch

レンズ..... f=24.4~39 mm F=2.4~3.1
電動ズーム(1.6倍)
電動フォーカス

ランプ..... 270 W SHPランプ

画面サイズ..... 60~200 inch
投影距離1.78~6.07 m(ワイド時、16:9スクリーン)

明るさ..... 800 ANSI lm(標準モード),
500 ANSI lm(シネマモード)

コントラスト..... 1500:1(標準モード),
2700:1(シネマモード)

電気系

カラー方式..... NTSC, PAL, SECAM, NTSC4.43,
PAL-M, PAL-N, PAL60

走査周波数..... H: 15~54 kHz/V; 50~85 Hz(アナログ)
50~60 Hz(デジタル)

入力

VIDEO コンポジット信号
1Vp-p/75Ω, 同期負極性

S VIDEO Sビデオ信号
Y: 1Vp-p/75Ω, 同期負極性
C: 0.286又は0.3Vp-p/75Ω

D4 VIDEO コンポーネント信号
同期付Y: 1Vp-p/75Ω, 同期負極性
(480i, 576i, 480p, 576p)
同期付Y: 1Vp-p/75Ω, 3値同期
(1035i, 1080i, 720p)
PB/CB, PR/CR: 0.7Vp-p/75Ω

INPUT A/INPUT B
コンポーネント信号
同期付Y: 1Vp-p/75Ω, 同期負極性
(480i, 576i, 480p, 576p)
同期付Y: 1Vp-p/75Ω, 3値同期
(1035i, 1080i, 720p)
PB/CB, PR/CR: 0.7Vp-p/75Ω

RGB信号
同期付G: 1Vp-p/75Ω, 同期負極性
(480i, 576i, 480p, 576p)
同期付G: 1Vp-p/75Ω, 3値同期
(1035i, 1080i, 720p)
G: 0.7Vp-p/75Ω
(HD/VD又はSYNC使用時)
B, R: 0.7Vp-p/75Ω
HD, VD: 1~5Vp-p/2.2kΩ, 正負両極性
SYNC: 2Vp-p/2.2kΩ, 同期負極性
(480i, 576i)
SYNC: 1~5Vp-p/2.2kΩ, 同期負極性
(480i, 576i, 480p, 576p)

DVI デジタルRGB/コンポーネント信号

制御系

リモート..... RS-232C(D-sub 9ピン)
トリガー..... パワーオン時+12 V/最大200 mA,
オフ時0V(ミニジャック)

リモコン受光部

ワイヤレスリモコン..... 前後2箇所
ワイヤードリモコン..... 入力1系統
出力1系統

一般

動作温度範囲..... 5℃~35℃
動作湿度範囲..... 30%~85%(結露しないこと)

電源..... AC100~120 V/220~240 V, 50/60 Hz

消費電力..... 365 W
スタンバイ時消費電力..... 0.1 W

騒音レベル..... 30 dB(標準モード),
28 dB(エコノミーモード)

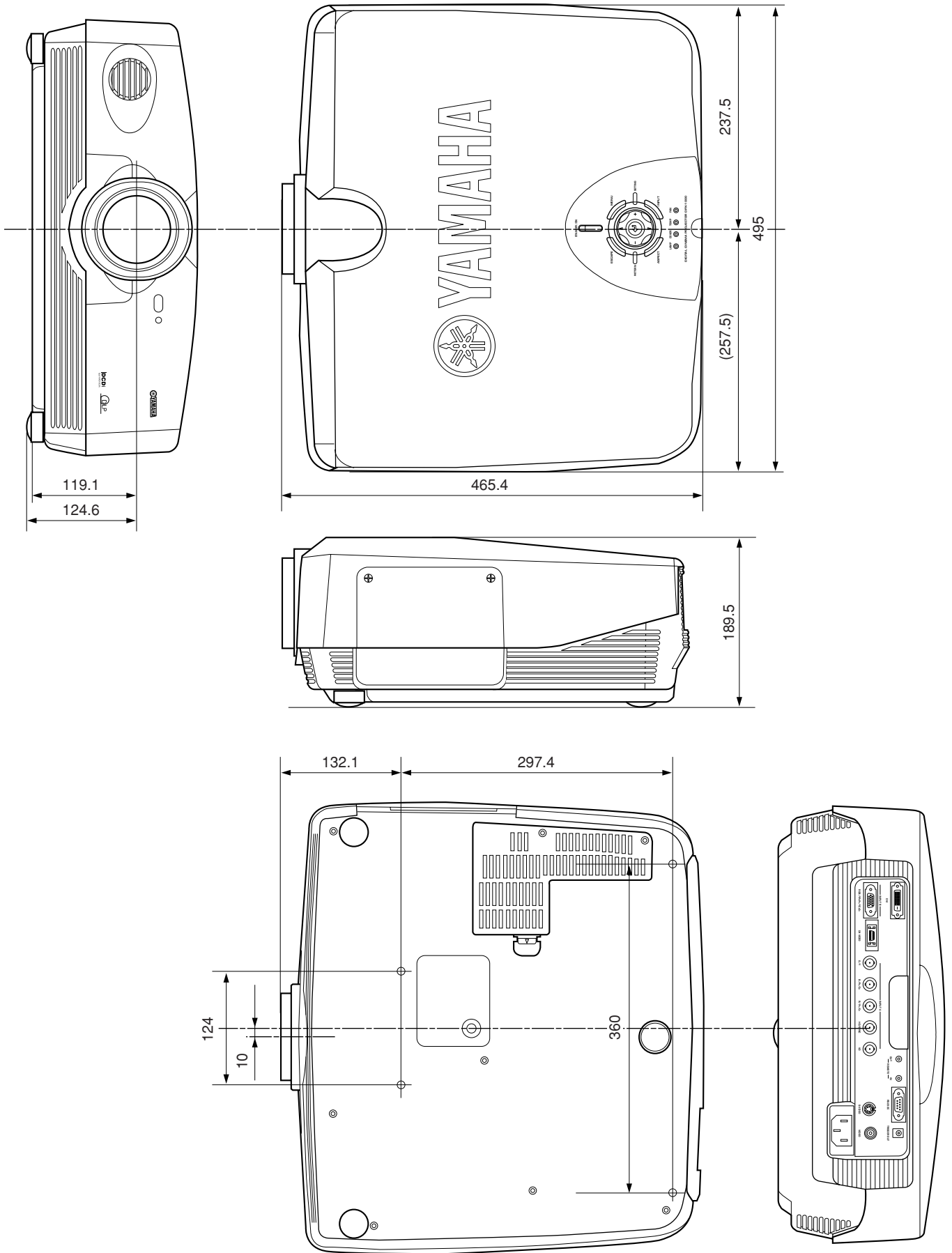
外形寸法..... 495(W) x 189.5(H) x 465.4(D) mm
重量..... 13.8 kg

仕様、および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

- 本機は「高調波ガイドライン」適合品です。

- 本機がラジオやテレビジョン受信機に接近して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

■ 寸法図 (mm)



参考

ヤマハホットラインサービスネットワーク

ヤマハホットラインサービスネットワークは、本機を末永く、安心してご愛用いただけるためのものです。サービスのご依頼、お問い合わせは、お買上げ店、またはお近くのサービス拠点にご連絡ください。

● 保証期間

お買上げ日より1年間です。

● 保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

● 保証期間が過ぎているとき

修理によって製品の機能が維持できる場合にはご要望により有料にて修理いたします。

● 修理料金の仕組み

- ◆ **技術料** 故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。
- ◆ **部品代** 修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
- ◆ **出張料** 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

● 補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後8年(テープデッキは6年)です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

● 持ち込み修理のお願い

故障の場合、お買上げ店、または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点へお持ちください。

● 製品の状態は詳しく

サービスをご依頼なさるときは製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また製品の品番、製造番号などもあわせてお知らせください。

※ 品番、製造番号はAV製品の背面もしくは底面に表示してあります。

● スピーカーの修理

スピーカーの修理可能範囲はスピーカーユニットなど振動系と電気部品です。尚、修理はスピーカーユニット交換となりますので、エージングの差による音色の違いが出る場合があります。

● 摩耗部品の交換について

本機には使用年月とともに性能が劣化する摩耗部品(下記参照)が使用されています。摩耗部品の劣化の進行度は使用環境や使用時間等によって大きく異なります。本機を末永く安定してご愛用いただくためには、定期的に摩耗部品を交換されることをお勧めします。摩耗部品の交換は必ずお買上げ店、またはヤマハ電気音響製品サービス拠点へご相談ください。

摩耗部品の一例

ボリュームコントロール、スイッチ・リレー類、接続端子、ランプ、ベルト、ピンチローラー、磁気ヘッド、光ヘッド、モーター類など

※ このページは、安全にご使用いただくためにAV製品全般について記載しております。

■ ヤマハAV製品の機能や取扱いに関するお問合せは

お客様ご相談センター

TEL (0570) 01 - 1808 (ナビダイヤル)

全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

携帯電話、PHSからは下記番号におかけください。

TEL (053) 460 - 3409

FAX (053) 460 - 2777

住所 〒430-8650

静岡県浜松市中沢町10-1

ご相談受付時間 10:00~12:00, 13:00~18:00

(日・祝日及び弊社が定めた日は休業とさせていただきますのであらかじめご了承ください。)

■ ヤマハAV製品の修理、サービスパーツに関するお問合せは

(ヤマハ電気音響製品サービス拠点)

北海道 〒064-8543 札幌市中央区南十条西1-1-50 ヤマハセンター内
TEL (011) 512 - 6108

仙台 〒984-0015 仙台市若林区卸町5-7 仙台卸商共同配送センター3F
TEL (022) 236 - 0249

首都圏 〒143-0006 東京都大田区平和島2丁目1番1号
京浜トラックターミナル内14号棟A-5F
TEL (03) 5762 - 2121

浜松 〒435-0016 浜松市和田町200 ヤマハ(株)和田工場内
TEL (053) 465 - 6711

名古屋 〒454-0058 名古屋市中川区玉川町2-1-2
ヤマハ(株)名古屋流通センター3F
TEL (052) 652 - 2230

大阪 〒565-0803 吹田市新芦屋下1-16
ヤマハ(株)千里丘センター内
TEL (06) 6877 - 5262

四国 〒760-0029 高松市丸亀町8-7
(株)ヤマハミュージック神戸 高松店内
TEL (087) 822 - 3045

九州 〒812-8508 福岡市博多区博多駅前2-11-4
TEL (092) 472 - 2134

愛情点検



★ 永年ご使用のAV製品の点検を！

こんな症状はありませんか？

- 電源コード・プラグが異常に熱い。
- コゲくさい臭いがする。
- 電源コードに深いキズが変形がある。
- 製品に触れるとピリピリと電気を感じる。
- 電源を入れても正常に作動しない。
- その他の異常・故障がある。



すぐに使用を中止してください。

事故防止のため電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店に点検をご依頼ください。なお、点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。

ヤマハオーディオ&ビジュアルホームページ

<http://www.yamaha.co.jp/audio/>

ヤマハ株式会社

〒430-8650 浜松市中沢町10-1

